大阪府土木部電子納品要領（案）〔設備工事〕

１．大阪府土木部電子納品要領（案）〔設備工事〕

２．施設コード表（大阪府編）

３．機器コード表（大阪府編）

大阪府土木部電子納品要領（案）

[　設備工事編　]

平成 17 年 4 月

大　阪　府　土　木　部

－ 目　　次 －

1．大阪府土木部電子納品要領（案）〔設備工事編〕の取扱い‥ 1

2．電子納品の定義と適用‥‥‥

4.3 **図面管理項目**‥‥‥

1． 大阪府土木部電子納品要領（案）〔設備工事編〕の取扱い

大阪府土木部電子納品要領（案）〔設備工事編〕（以下、「本要領」という。）は、大阪府土木部が平成 17 年度以降に実施する設備工事における、完成図書の電子納品に対応するために、発注者及び請負者に向けたガイドラインとして作成したものである。

本要領は、電子納品対象案件における請負者との事前協議の内容さらには書類検査方法など、電子納品を推進するために必要な措置を盛り込んだものである。

なお、本要領は、電子納品実施結果の整理、分析を踏まえ、逐次、見直していくものである。

（本要領の見方）

大阪府発注の工事の電子納品を行う際には、本要領と併せて国土交通省が策定した電子納品要領・基準等に基づくものとする。特に、本要領では、国土交通省の基準に規定のない事項や大阪府独自基準を中心に記載している。基本的には、国土交通省の基準を準用しており、電子納品支援ソフト等においても、国土交通省対応版のもので、作成することが可能である。

下記に、主に本要領に従う事項と国土交通省要領等に従う事項の目安を示す。

本要領を基本とする事項

- 電子納品の適用範囲
- 情報共有システム
- 管理項目の記述例
- ファイルの形式（一部）
- 電子納品対象書類
- 成果品の納品方法
- 電子媒体ラベル
- 電子納品チェックシート

国土交通省の要領等を基本とする事項

- フォルダ構成
- ファイル形式
  （本要領に特別記載のないもの）
- ファイル命名規則

2． 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

工事完了書類の電子納品（以下、「電子納品」という。）とは、工事の完成図書を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省が策定している各種の電子納品要領（案）、基準（案）に示されたファイル形式で作成されたものを指す。

電子納品については、表 1.1 に示される共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品を対象とする。

表 1.1　共通仕様書一覧

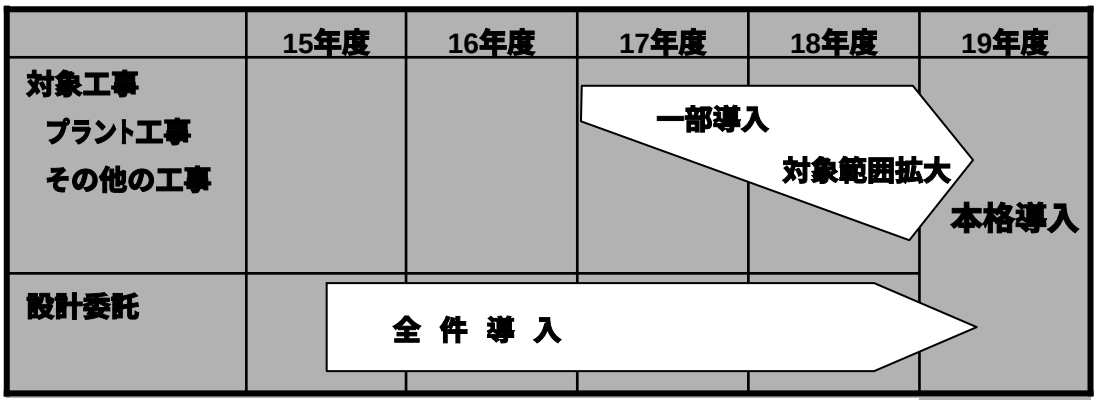
名　　称	備　考
機械・電気設備工事共通仕様書	

2.2 電子納品の適用範囲

工事の電子納品の適用範囲は当面以下のとおりとし、普及啓発を図りながら順次拡大をめざすものとする。

・土木部発注のプラント工事（平成１７年４月以降契約するもの）

上記案件以外にも、請負者より電子納品の申し出があったもの（部分的な電子納品含む）及び受発注者間で協議の整ったものについては、電子納品の対象とする。



2.3 適用基準

電子納品にあたっては、大阪府土木部電子納品要領（案）設備工事編（以下、「本要領」という。）及び国土交通省が策定した以下基準類を準用する。なお、本要領と下記基準に差異があるものについては、本要領を優先するものとする。

- **工事完成図書の電子納品要領（案）**
  機械設備工事編　［平成 16 年 6 月　国土交通省］
  ※電気通信設備編は使用しないものとする。
- **CAD 製図基準（案）　機械設備工事編　［平成 16 年 3 月　国土交通省］**
- **デジタル写真管理情報基準（案）　［平成 16 年 6 月　国土交通省］**

国土交通省国土技術政策総合研究所 HP　http://www.nilim-ed.jp
国土交通省港湾局建設課 HP　http://www.ysk.nilim.go.jp/cals/index.htm

本要領は基準や仕様の違いによる混乱を避けるため、国土交通省の各種基準類をベースにした仕様となっている。

また、納品データ作成にあたっては、市販の電子納品作成ツール（ソフト）が利用できるが、国土交通省の基準類に準拠したものであればメーカは特に指定しない。

なお、電子納品にあたり、受発注者間で事前に取り決めるべき項目などについて、国土交通省がまとめたガイドラインを、参考資料として表 2.1 に示す。

表 2.1　電子納品関連ガイドライン

ガイドライン名	策定年月日	策定者	掲載ホームページアドレス
電子納品運用ガイドライン（案）	平成 13 年 3 月 平成 16 年 3 月 平成 16 年 10 月	国土交通省	国土交通省国土技術政策総合研究所 HP http://www.nilim-ed.jp
現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン（案）[土木工事編]	平成 14 年 2 月		
電子納品運用ガイドライン（案）機械設備工事編	平成 16 年 10 月		
ＣＡＤ製図基準に関する運用ガイドライン（案）	平成 16 年 1 月 平成 16 年 10 月		

2.4 本要領と国土交通省との差異

電子納品の要領基準については、基本的に国土交通省策定のものを準用するが、一部大阪府が独自に仕様変更したものがある。変更項目は表 2.2 のとおりである。
また、各種管理項目については、大阪府の記述方法を本要領に示しているので、基準に従い、管理ファイルに格納すること。

大阪府と国土交通省との違いについては、下表のとおりである。

表 2.2　大阪府と国土交通省との差異

項　　目	内　　容		要　　領
	国土交通省	大阪府	
CADデータファイルのフォーマット	原則として SXF（p21）	原則として **SXF（sfc）**	「CAD 製図基準（案）」 機械設備工事編
オリジナルファイルの形式	受発注者で協議し決定（データコンバートができればよい）	原則、下記形式による Word、Excel、Visio、JPEG、TIFF、HTML、ppt、	「工事完成図書の電子納品要領（案）」 機械設備工事編
電子署名の当面の対応について	「電子媒体納品書」に署名捺印の上、電子媒体と共に提出	検査前協議チェックシートに示す「納品一覧表」を打合せ簿に添付。 押印等は不要。	「各事前協議ガイドライン（案）」 ※P.3 表 2.1 参照
電子媒体に貼るラベルについて	電子媒体 CD-R のラベルへの直接署名又は押印欄の記載なし	電子媒体 CD-R のラベルに、受発注者が直接押印する欄を明記	「工事完成図書の電子納品要領（案）」 機械設備工事編
納品物	CD-R　2部	CD-R　2部 写真帳　1部 施工計画書　1部 完成図書　1~3 部※	「工事完成図書の電子納品要領（案）」 機械設備工事編

※維持管理に必要な部数とする。（従来納品部数－１部とする。）１工事に複数の機場が含まれる場合は別途考慮する。

☆各種管理項目の記入方法について

国土交通省の電子納品要領等で定められている管理項目の中には、記入内容に不確定な部分があることから、これらを 3 章以降に具他的な内容を記述する。
この内容については、管理項目毎に一覧表の中で記入例を示しているので、それらを参考に管理ファイルを作成するものとする。

2.5 建設 CALS に必要な機器及びソフトウェア

電子納品及び情報共有システムに必要な機器及びソフトウェア等は、表 2.3 のとおりである。

表 2.3 必要機器及びソフトウェア

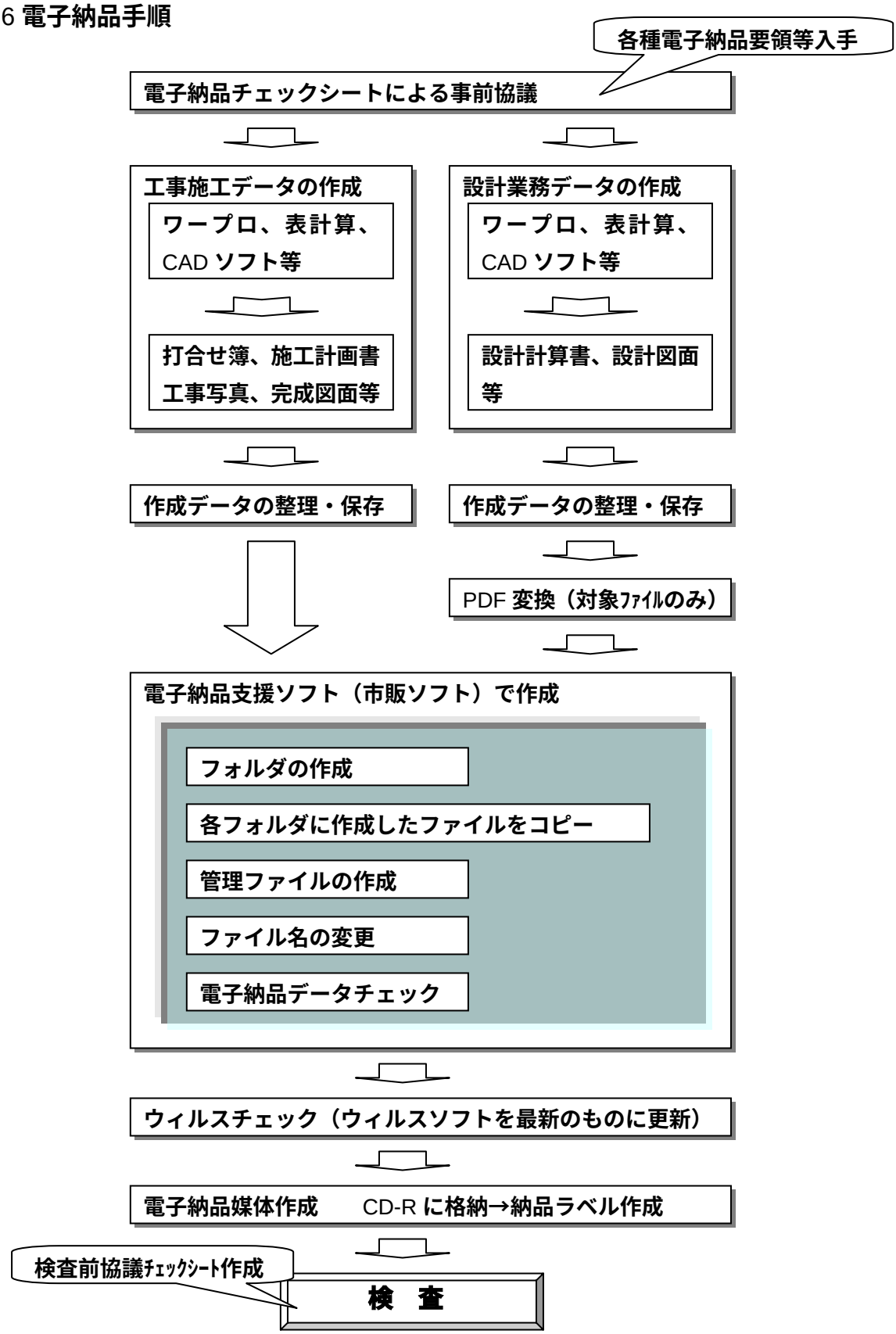
		仕様	必要度	
			工事	委託等
パソコン			○	○
	OS	Windows98SE、Windows NT Workstation4.0(SP5以上)、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP		
	CPU	・デスクトップの場合：Intel Pentium II プロセッサ266MHz以上		
		・ノートの場合：Intel Mobile Pentium II プロセッサ266MHz以上		
	メモリ	128MB以上		
	解像度	1024×768ドット（XGA）以上		
プリンタ		カラー 300dpi以上	○	○
CD-Rドライブ			○	○
デジタルカメラ		100万画素程度（地質のコア写真は２００万画素以上）	○	△
スキャナ			○	△

ソフトウェア

		必要度	
		工事	委託等
ブラウザ	Internet Explorer 5.5 SP2、Internet Explorer 6 SP1	○	○
ワープロソフト	Word	○	○
表計算ソフト	Excel	○	○
CADソフト	SXF対応のCADソフト	△	○
PDF作成ソフト		△	○
ウィルスチェックソフト	常に最新のデータに更新	○	○
電子納品作成支援ソフト	JACIC東北地方センター参照 http://www1.bstream.jp/%7Ethjacals/nohin/nohin.htm	○	○
圧縮解凍ソフト	LZH又はZIP	○	○

※凡例
○は必須
△は任意

2.6 電子納品手順


各種電子納品要領等入手
電子納品チェックシートによる事前協議
工事施工データの作成
ワープロ、表計算、CAD ソフト等
打合せ簿、施工計画書
工事写真、完成図面等
設計業務データの作成
ワープロ、表計算、CAD ソフト等
設計計算書、設計図面等
作成データの整理・保存
作成データの整理・保存
PDF 変換（対象ﾌｧｲﾙのみ）
電子納品支援ソフト（市販ソフト）で作成
フォルダの作成
各フォルダに作成したファイルをコピー
管理ファイルの作成
ファイル名の変更
電子納品データチェック
ウィルスチェック（ウィルスソフトを最新のものに更新）
電子納品媒体作成　CD-R に格納→納品ラベル作成
検査前協議ﾁｪｯｸｼｰﾄ作成
検　査

2.7 事前協議及び指示事項

工事及び委託期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領の内容をもとに、以下の項目について受発注者間で事前に協議し、双方の合意を図るものとする。
また、完了検査の円滑な進行及び納品データの適正な保管管理の観点から、納品前にも再度協議するものとする。

本要領及び準用する各種基準類は、電子納品にかかるすべての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ受発注者間で取り決めておく（事前協議）必要がある。

事前協議については、想定される項目をチェックシート（別紙）に取りまとめ、これに基づいて協議を進めるとともに、施工計画書あるいは業務計画書の付属資料として提出するものとする。なお、事前協議で取り決めておくべき主な事項は以下のとおり。

1) 電子納品の対象範囲
2) 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
3) 電子化が困難な書類の取扱い
4) 基準にない項目の取扱い
5) 情報共有システムまたは電子メールに添付するファイルの容量

また、納品されたデータをあとの工程に利活用していくため、納品物の内容をあらかじめ確認することが重要である。これも事前協議同様、チェックシートを主体に確認を行うものとし、協議項目は以下のとおりとする。

1) 検査時の取扱い
2) 電子納品の対象範囲
3) 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
4) 電子化が困難な書類の取扱い
5) 基準にない項目の取扱い

以下に示す書類（成果品）の取扱いについては、別途定める運用に基づき受発注者間で協議し取り決めること。

１．納品伝票、廃棄物マニュフェスト等→数量を確認するための書類
２．コンクリート中の塩分測定試験票（カンタブ）等→成果物が現物となる場合
３．二次製品の品質証明書、下請契約書等→書類に押印されている書類
４．カタログ、見本等→無理な電子化（スキャニング）となる場合

2.8 情報共有システム

情報共有システムは、工事の施工段階で打合せ簿等の各種書類の提出や承認といった日々のやりとりを、インターネットを介してシステム上で行うものである。

このシステムを利用することにより、インターネットで提出承認されたデータがサーバに蓄積されるため、書類の紛失・破損防止や書類の提出のためだけの移動といった時間・経費の削減が可能となり、より適正で効率的な公共事業の執行が期待できる。

施工中の書類のやり取りは本システムを介して行うこととなるが、公印や社印が必要な書類については、オリジナルデータとして電子化するとともに従来通り紙での提出とする。

情報共有システムの対象範囲は、平成 17 年４月以降に発注するプラント工事を対象に実施するものとし、今後順次拡大を図るものとする。

上記案件以外にも、情報共有システムの利用について、受発注者間で協議の整ったものについては対象とする。

また、本システムの対象は工事施工に関するものであるが、委託業務であっても、受発注者間の協議が整った案件については、情報共有システム（打合せ簿機能等）の利用ができるものとする。

情報共有システムを利用した打合せ簿等の提出書類については、押印の必要はない。ただし、公印等の必要な書類は除く。

☆情報共有システムの利用にあたって

1）準備手段（インターネット接続＝プロバイダ等との契約）
2）情報共有システム利用マニュアルの入手
3）ユーザ ID・パスワード（PW）を発注者に申請
4）情報共有システムにログイン

（添付ファイルの容量）

添付ファイルの容量については、５ＭＢ程度とする。

容量の大きいファイルのやり取りは、発注者と協議のうえ電子データの加工（ファイル圧縮、MO または CD-R 等の媒体）あるいは紙で対応するものとする。

3． 工事完成図書の電子納品ガイドライン

3.1 工事完成図書の電子納品

3.1.1 電子納品実施項目

電子納品対象データは、「機械・電気設備請負工事必携」（大阪府土木部監修）において定められている以下の図書を基本とする。ただし、契約に係る書類については対象外とする。

◇竣工書類

発注図面・特記仕様書
承諾図
施工計画書
工事打合簿
工事履行報告書
段階確認書（材料確認書・機器確認書）
写真

◇完成図書

電子化の方法等については、以下に示すとおりとする。

(1) 工事着手時に電子データとして発注者から受領していないもの（発注図面等）及び電子化の難しいものは対象外とする。

(2) 工事打合せ記録簿等については以下のとおりとする。

a) 原則として全てオリジナルデータとして電子化し納品する。ただし、電子化が難しい書類かつ、スキャナによるデータ化が困難なものは従来通りの納品として良いが、鑑（かがみ）については書類検査の効率化のため電子化して納品する。

b) 公印等が必要な書類についてはオリジナルデータとして電子化するとともに従来通り紙での提出を合わせて行う。

表 3.1　納品形態の整理

	公印が必要	私印のみ
鑑	電子化＋紙	電子化
添付資料	電子化＋紙又は紙のみ	電子化

(3) スキャニングする場合

カタログ等の紙書類を電子データ化する場合については、内容が確認できることを基本とする。スキャニングしたデータ容量を小さくするため、精細なものを除き、解像度は 300dpi 以下とすること。また、スキャニングする範囲についても最小限にすること。

例）カタログ

・極力電子カタログを利用すること。

・使用する材料のページのみスキャニングすること。

なお、詳細については下表のとおり取り扱うものとする。

（解像度）

書類の種類	解　像　度	備　　考
一般的なもの	300dpi	
精細なもの	300～600dpi	

（ファイル形式）

原　稿	形　　式	備　　考
白黒データ	TIFF（G4）	
カラーデータ	JPEG	

(4) デジタル写真を撮影する場合

デジタルカメラを使用して写真を撮影する場合については、パソコンの画面で拡大処をして黒板の文字やスケールが確認できることを基本とする。写真データ容量を小さくするために解像度を原則 100 万画素程度にすること。

（画素数）

撮影対象	解　像　度	備　　考
一般的なもの	80～100 万画素程度	1024×768 画素
精細なもの	200 万画素程度	1600×1200 画素

（ファイル形式）

原　稿	形　　式	備　　考
デジタル写真	JPEG	
参考図	JPEG 又は TIFF（G4）	

3.1.2 原本性の確保

原本性の確保、改ざん防止、当事者間の認証として行っている押印に変わる方法として、暫定的に以下のように定める。

・電子納品の媒体は CD-R（書き込みが 1 度しかできないもの）のみを使用する。

・受発注者相互に内容を確認した上、CD-R のラベルに直接署名又は押印を行うものとする。

従前の工事では、請負者と発注者が同一の「紙」を媒体とした書面にそれぞれ押印を行うことで、改ざんの防止や当事者間の認証を担保してきたが、書面の電子データ化に伴って、これに変わる電子署名のような処理方法を導入する必要がある。

しかし、当面の間、電子署名導入は、制度面，技術面ともに難しいため、暫定処置として以上のように定めた。

3.2 フォルダ構成

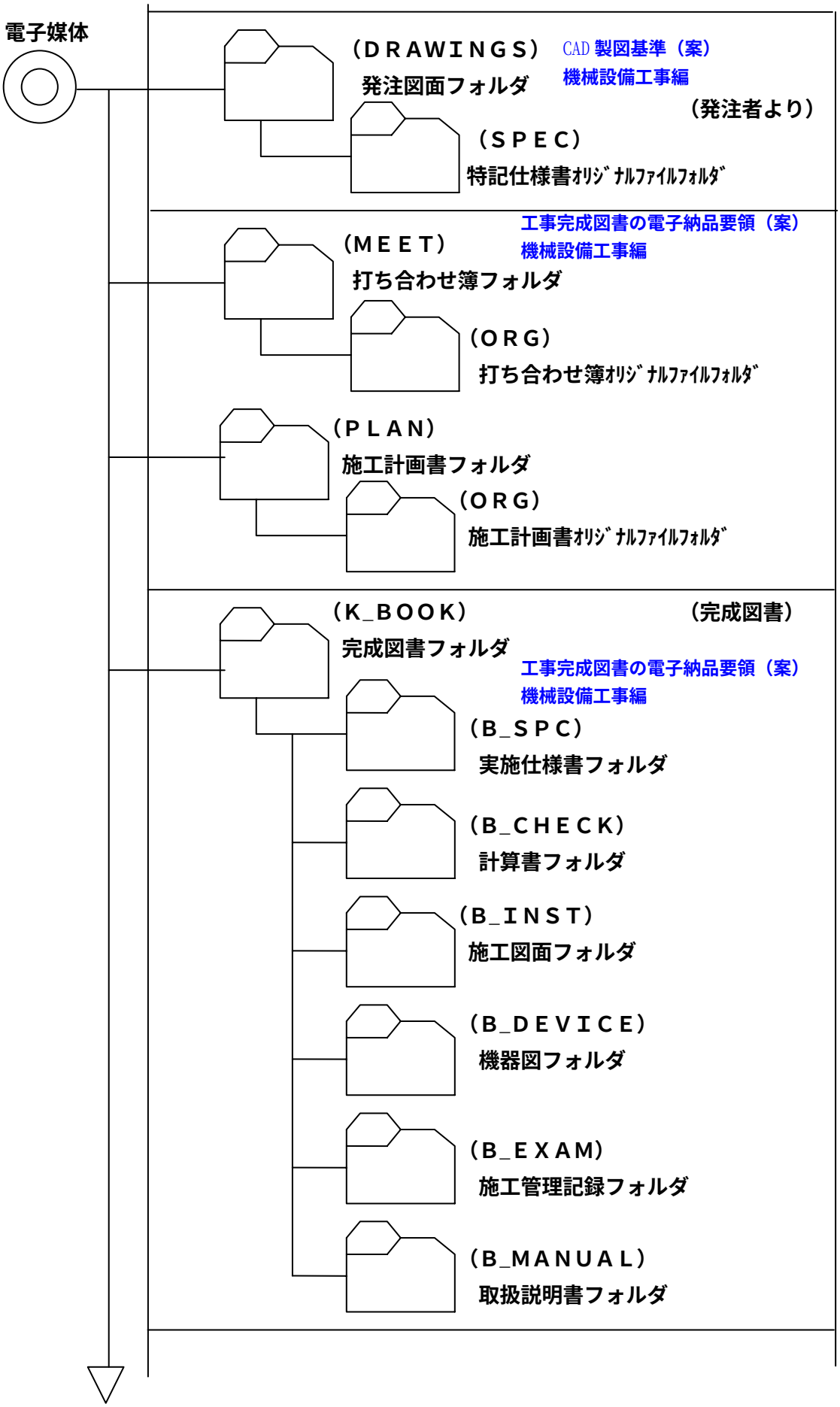
国土交通省の基準に定められている通り、電子媒体のルート直下に「DRAWINGS」、「MEET」、「PLAN」、「K_BOOK」、「K_DRAW」、「PHOTO」、「OTHRS」のフォルダ及び工事管理ファイルを置く。各管理ファイルを規定する DTD ファイルも該当フォルダに格納する。また「MEET」、「PLAN」、「OTHRS」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。

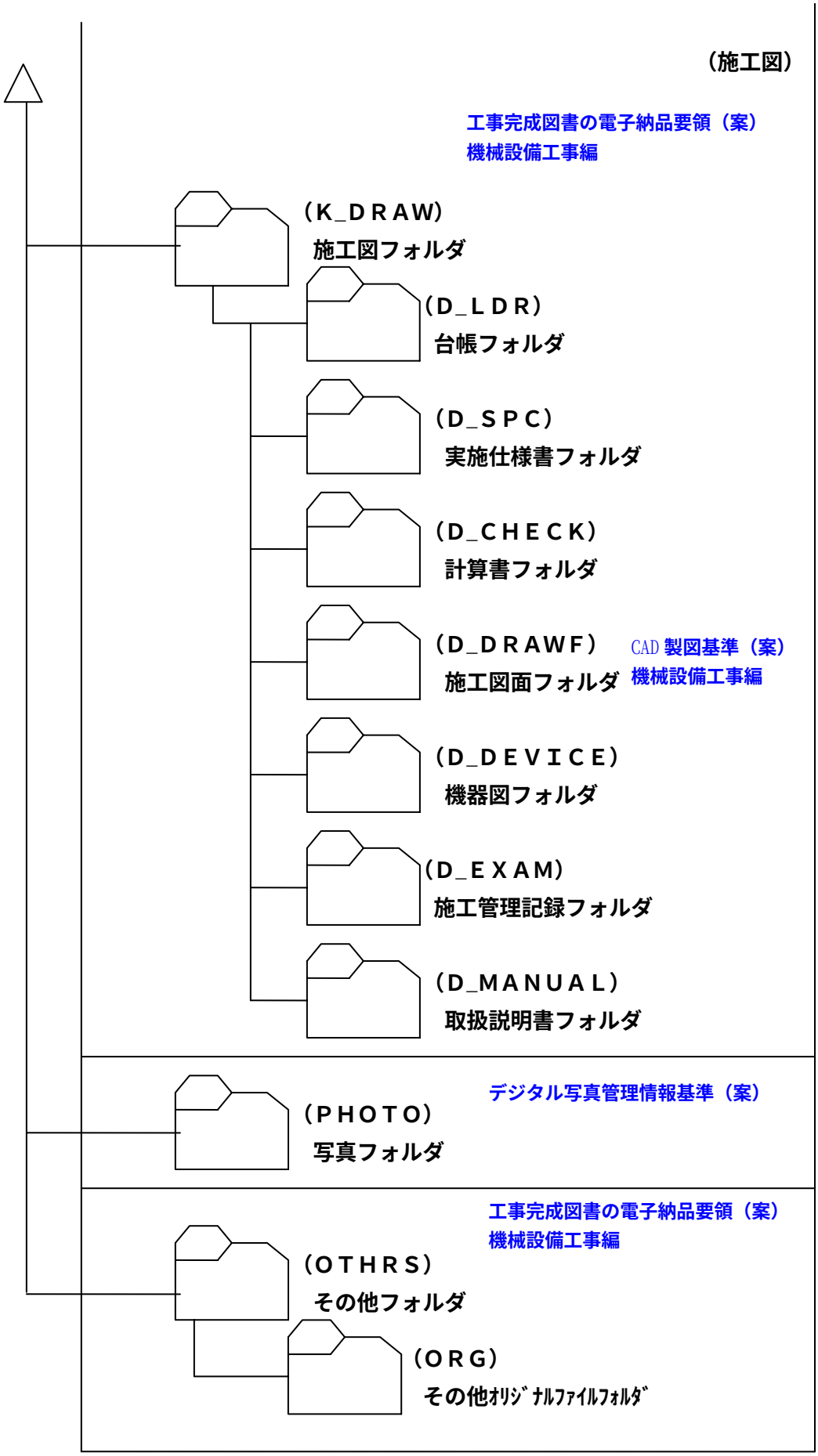
「K_BOOK」フォルダには、「B_SPC」、「B_CHECK」、「B_INST」、「B_DEVICE」、「B_EXAM」、「B_MANUAL」サブフォルダを置く。

「K_DRAW」フォルダには、「D_LDR」、「D_SPC」、「D_CHECK」、「D_DRAWF」、「D_DEVICE」、「D_EXAM」、「D_MANUAL」サブフォルダを置く。

国土交通省の基準に示される通り、各フォルダ及びサブフォルダの構成は図３．１の通りとする。

図 3.1　フォルダ構成


電子媒体
（ＤＲＡＷＩＮＧＳ）
CAD 製図基準（案）
機械設備工事編
発注図面フォルダ
（発注者より）
（ＳＰＥＣ）
特記仕様書ｵﾘｼﾞﾅﾙﾌｧｲﾙﾌｫﾙﾀﾞ
工事完成図書の電子納品要領（案）
機械設備工事編
（ＭＥＥＴ）
打ち合わせ簿フォルダ
（ＯＲＧ）
打ち合わせ簿ｵﾘｼﾞﾅﾙﾌｧｲﾙﾌｫﾙﾀﾞ
（ＰＬＡＮ）
施工計画書フォルダ
（ＯＲＧ）
施工計画書ｵﾘｼﾞﾅﾙﾌｧｲﾙﾌｫﾙﾀﾞ
（Ｋ_ＢＯＯＫ）
（完成図書）
完成図書フォルダ
工事完成図書の電子納品要領（案）
機械設備工事編
（Ｂ_ＳＰＣ）
実施仕様書フォルダ
（Ｂ_ＣＨＥＣＫ）
計算書フォルダ
（Ｂ_ＩＮＳＴ）
施工図面フォルダ
（Ｂ_ＤＥＶＩＣＥ）
機器図フォルダ
（Ｂ_ＥＸＡＭ）
施工管理記録フォルダ
（Ｂ_ＭＡＮＵＡＬ）
取扱説明書フォルダ


（施工図）
工事完成図書の電子納品要領（案）
機械設備工事編
（K_ＤＲＡＷ）
施工図フォルダ
（D_ＬＤＲ）
台帳フォルダ
（D_ＳＰＣ）
実施仕様書フォルダ
（D_ＣＨＥＣＫ）
計算書フォルダ
（D_ＤＲＡＷＦ）
施工図面フォルダ
CAD 製図基準（案）
機械設備工事編
（D_ＤＥＶＩＣＥ）
機器図フォルダ
（D_ＥＸＡＭ）
施工管理記録フォルダ
（D_ＭＡＮＵＡＬ）
取扱説明書フォルダ
デジタル写真管理情報基準（案）
（ＰＨＯＴＯ）
写真フォルダ
工事完成図書の電子納品要領（案）
機械設備工事編
（ＯＴＨＲＳ）
その他フォルダ
（ＯＲＧ）
その他ｵﾘｼﾞﾅﾙﾌｧｲﾙﾌｫﾙﾀﾞ

3.3 ファイル形式

成果品の電子データを作成するソフトについては、以下のとおりとする。

・工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル
工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML **形式とする。**

・打合せ簿オリジナルファイル（MEET **フォルダに格納するファイル）**
打合せ簿オリジナルファイルを作成するソフトは、基本的には、Word、Excel、PowerPoint、**画像ファイル（**JPEG、TIFF**）、**HTML**（情報共有を行った場合）とする。ただし、**PDF **で納品する場合は、事前に発注者と協議する。**

・施工計画書オリジナルファイル
施工計画書オリジナルファイルを作成するソフトは、基本的には、Word、Excel、PowerPoint、**画像ファイル（**JPEG、TIFF**）、**HTML**（情報共有を行った場合）とする。オリジナルファイルと併せて、**PDF **で納品することが望ましい。**

・工事履行報告書及び段階確認書オリジナルファイル
工事履行報告書及び段階確認書オリジナルファイルを作成するソフトは、Word、Excel、PowerPoint、**画像ファイル（**JPEG、TIFF**）、**HTML**（情報共有を行った場合）とする。**

・ 完成図書フォルダの各サブフォルダに格納するファイルのファイル形式は
PDF **形式とする。**

・台帳ファイルの施工図の台帳フォルダに格納するファイル形式は XML **形式とする。**

・施工図面ファイル（図面ファイル）
施工図フォルダ内の施工図面フォルダに格納する図面ファイルのファイル形式については、SXF（sfc **形式）とする。また、機器図フォルダに格納する図面ファイルのファイル形式については** PDF **形式とする。**

・ 施工図フォルダの各サブフォルダに格納する台帳・施工図面・一部の機器図以外のファイルのファイル形式は PDF **形式とする。**

・写真ファイル
写真ファイルのファイル形式については、JPEG **とする。ただし、参考図ファイルは、**JPEG **又は** TIFF**（**G4**）形式とする。**

打合せ簿、施工計画書、工事履行報告書及び段階確認書オリジナルファイルとして登録されるポンチ絵等については、必ずしも「CAD 製図基準（案）機械設備工事編」、「デジタル写真管理情報基準（案）」に従う必要はない。また、上記オリジナルファイル形式での納品が困難な場合は、発注者と協議するものとする。

PDF ファイルにて納品する場合、変換方法、ファイルの編集等は以下のとおりとする。

- 用紙サイズは、A4 縦を基本とするが、A3 横も使用してよい。
- フォントの埋め込みは行わない。また、特殊なフォントは用いない。
- しおり（ブックマーク）は、報告書の目次と同じ章、節、項（見出しレベル 1〜3）までの各項目で作成する。また、該当ファイル以外の別ファイルへのリンクとなるしおりに関しては、大項目に関してのみ作成する。
- サムネイル（ページを縮小して一覧表示したもの）を作成する。
- セキュリティの設定は行わない。
- 初期表示の設定は、以下のよう表示されるようにする。
  a) 最初に表紙のページが表示される（しおりとページを表示）。
  b) 100%の倍率で表示される。

3.4 電子媒体

3.4.1 使用媒体

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、以下の各項目に従うものとする。

- **CD-R の使用を原則とする。**
- **CD-R は、ISO9660 フォーマット（レベル 1）を標準とする。**
- **基本的には、1 枚の CD-R に格納する。**
- **複数枚の CD-R に格納する場合には、国土交通省の要領「7-3 成果品が複数枚に渡る場合の処置」に従う。**
- **納品時には、正副各 1 部ずつを納品するほか、下記書類も併せて提出する。**

①写真帳	**1 部**
②施工計画書	**1 部**
③完成図書	**１～３部**

納品媒体は、CD-R を原則とする。CD-R のフォーマット形式は、ISO9660（レベル 1）とするため、写真ファイル名にロングネームは使用しない。

上記①～②については、電子データとして CD-ROM に格納するほか、完成検査のスムーズな進行のため、紙に印刷したものも併せて納品するものとするが、体裁、様式等は特に指定しない。③については維持管理上必要な書類である。

施工計画書については、工事施工中に使用したものでもよい。また写真帳については現像プリントの必要はないが、従来の工事写真帳と同様に、写真の分類・状況説明を付し、見易く編集したものとする。写真（ダイジェスト版）の提出の必要性については受発注者間で協議するものとする。

完成図書については、維持管理上必要な部数を提出するものとする。（従来提出部数ー１部とする。）１工事に複数の機場が含まれる場合が別途考慮すること。

なお、その他特に紙による納品の必要があるものについては、受発注者で協議するものとする。

CD-R のフォーマットについて

「ISO9660」は、汎用性が高い CD-R/RW 用の標準フォーマット規格である。この規格は、ファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル 1～3 が規定されている。最も多くの OS に対応可能なレベル 1 は、ファイル名 8 文字+拡張子 3 文字、使用できる文字は半角の英数文字（A～Z、0～9）及び、_（アンダーバー）のみと、制限が厳しくなっている。

3.4.2 電子媒体ラベル

成果品の電子納品時における使用媒体に用いるラベルについては、以下の各項目に従うものとする。

・媒体のラベルには、以下の情報を明記する。

（ｉ） 契約番号
（ii） 工事名称
（iii） 作成年月
（iv） 発注者名
（ｖ） 請負者名
（vi） 何枚目／総枚数
（vii） ウィルスチェックに関する情報
（viii） フォーマット形式：ISO9660**（レベル** 1**）**

・媒体を入れるプラスチックケース表紙には、以下の情報を横書きで明記する。

（ｉ） 契約番号
（ii） 工事名称
（iii） 作成年月
（iv） 発注者名
（ｖ） 請負者名

（1） ラベルは、CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成するか、もしくは専用の円形ラベル用紙にプリンタ印字した後、貼付器具により確実に CD-R 表面に貼付け作成する。

（2） 「ウィルスチェックに関する情報」については、使用した「ウィルス対策ソフト名」「ウィルス定義年月日」もしくは「パターンファイル名」、「チェック年月日」を明記する。

（3） プラスチックケースのラベルの表紙には、以下の例のように記載する。

図 3.1　CD-R 表面

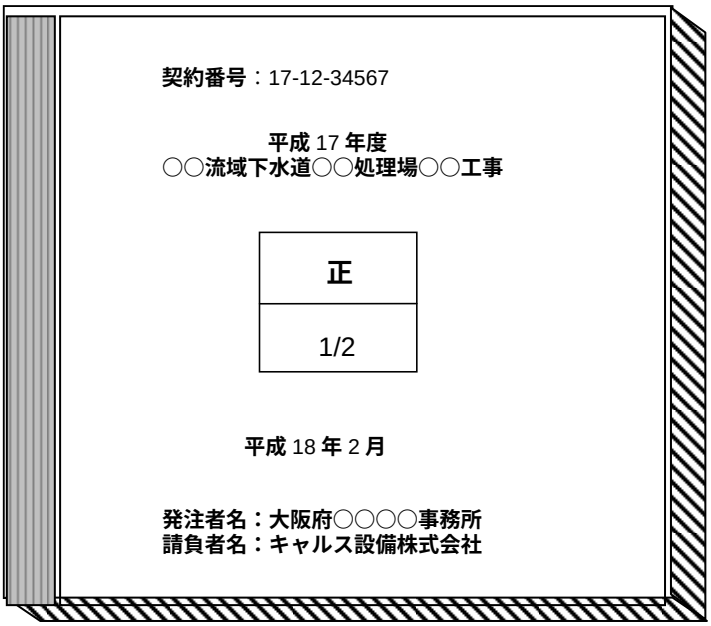


図 3.2　CD-R ケース表紙

3.5 工事検査

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために以下のように定める。

- **電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、受発注者間の協議により取り決めるものとする。**
- **書類検査を行うための準備（検査用機器等）は、原則として発注者が行う。**

検査の準備は原則として発注者が行い、建設 CALS/EC を推進するためにもできるだけ電子データで検査を行うことが望ましい。

（1）電子成果物により検査を行う書類の範囲

基本的には、電子化を行ったすべての成果品に対して行う。

（2）書類検査用機器構成

標準的な機器構成は以下の通りである。

・文書閲覧用パソコン　1 台

・図面・写真閲覧用パソコン　1 台

・プリンタ（A3 版まで出力可能なもの）1 台

※書類検査の過程で、検査官が印刷物を必要であると認めた場合に対応するために準備する。

（3）閲覧用ソフトウェア

検査時における書類の閲覧は、発注者の用意する電子納品検索閲覧ソフトを利用するものとする。ただし、請負者からの申し出があれば、市販の電子媒体作成用ソフト等の検索・閲覧機能を利用することもできる。ただしその場合、機器類は請負者が用意する。

（4）機器の操作

検査官が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として請負者が行う。請負者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために請負者は、余分に電子納品媒体（CD-R）、パソコン等を監督員との協議により準備する。

3.6 成果品の管理項目

3.6.1 工事管理項目

成果品の電子媒体に添付する工事管理ファイル（INDEX_C.XML）には、国土交通省の基準に示される基礎情報、ソフトウェア情報、工事情報からなる工事管理項目を記入する。

工事管理項目（基礎情報、ソフトウェア情報、工事情報）を次頁に示す。

次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　■：CORINS から出力される CFD ファイル
（CORINS2000 提出用フロッピーディスクのファイルフォーマット）から取り込むことが可能な項目
□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。

（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。

（例） **大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥ ○**
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥×

3）年月日の間にハイフン（ - ）を挿入すること。

（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■工事管理項目（1/4）

分類	項目名	記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
			国土交通省	大阪府				
基礎情報	**メディア番号**	**1**	提出した媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば１となる。		半角数字	8	◎	□
	メディア総枚数	**2**	提出した媒体の総枚数を記入する。		半角数字	8	◎	□
	発注図面フォルダ名	**DRAWINGS**	発注図の図面管理ファイルと発注図面ファイルを格納するフォルダ名称を（DRAWINGSで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	**DRAWINGS/SPEC**	特記仕様書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称（DRAWINGS//SPECで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	打合せ簿フォルダ名	**MEET**	打合せ簿管理ファイルと打合せ簿オリジナルファイルフォルダを格納するフォルダ名称（MEET：で固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	**MEET/ORG**	打合せ簿オリジナルファイルを格納するフォルダ名称（MEET/ORGで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	施工計画書フォルダ名	**PLAN**	施工計画書管理ファイルと施工計画書ファイルフォルダを格納するフォルダ名称（PLAN/ORGで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	**PLAN/ORG**	施工計画書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称（PLAN/ORGで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	完成図面フォルダ名	**K_BOOK**	完成図書用サブフォルダを格納するフォルダ名称（K_BOOKで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	B実施仕様書フォルダ	**K_BOOK_SPC**	B実施仕様書管理ファイルと実施仕様書ファイルを格納するフォルダ名称（K_BOOK/B_SPCで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	B計算書フォルダ名	**K_BOOK/B_CHECK**	B計算書管理ファイルと計算書・検討書・数量表ファイルを格納するフォルダ名称（K_BOOK/B_CHECKで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	B施工図面フォルダ名	**K_BOOK/B_INST**	B施工図面管理ファイルと施工図面ファイルを格納するフォルダ名称（K_BOOK/B_INSTで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲

■工事管理項目 (2/4)

分類	項目名	記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
			国土交通省	大阪府				
基礎情報	B機器図フォルダ名	K_BOOK/B_DEVICE	B機器図管理ファイルと機器図ファイルを格納するフォルダ名称（K_BOOK/B_DEVICEで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	B施工管理記録書フォルダ名	K_BOOK/B_EXAM	B施工管理記録書管理ファイルと施工管理記録書ファイルを格納するフォルダ名称（K_BOOK/B_EXAMで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	B取扱説明書フォルダ名	K_BOOK/B_MANUAL	B取扱説明書管理ファイルと取扱説明書・サービス体制ファイルを格納するフォルダ名称（K_BOOK/B_MANUALで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	施工図フォルダ名	K_DRAW	施工図用サブフォルダを格納するフォルダ名称（K_DRAWで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	台帳フォルダ名	K_DRAW/LDR	台帳管理ファイルと施設台帳、機器台帳ファイルを格納するフォルダ名称（K_DRAW/LDRで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	D実施仕様書フォルダ名	K_DRAW/D_SPC	D実施仕様書管理ファイルと実施仕様書ファイルを格納するフォルダ名称（K_DRAW/D_SPCで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	D計算書フォルダ名	K_DRAW/D_CHECK	D計算書管理ファイルと計算書・検討書・数量表ファイルを格納するフォルダ名称（K_DRAW/D_CHECKで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	D施工図面フォルダ名	K_DRAW/D_DRAWF	D施工図面管理管理ファイルと施工図面ファイル格納するフォルダ名称（K_DRAW/D_DRAWFで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	D機器図フォルダ名	K_DRAW/D_DEVICE	D機器図管理ファイルと機器図を格納するフォルダ名称（K_DRAW/D_DEVICEで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	D施工管理記録書フォルダ名	K_DRAW/D_EXAM	D施工管理記録書管理ファイルと施工管理記録書ファイルを格納するフォルダ名称（K_DRAW/D_EXAMで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	D取扱説明書フォルダ	K_DRAW/D_MANUAL	D取扱説明書管理ファイルと取扱説明書・サービス体制ファイルを格納するフォルダ名称(K_DRAW/D_MANUALで固定)を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	写真フォルダ名	PHOTO	写真属性情報ファイル・写真フォルダ・参考図フォルダを格納するフォルダ名称（PHOTOで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	その他フォルダ名	OTHRS	その他管理ファイル。その他ファイルを格納するフォルダ名称（OTHRSで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲
	その他オリジナルファイルフォルダ名	OTHRS/ORG	工事履行報告書及び段階確認書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称（OTHRS/ORGで固定）を記入する。		半角英数大文字	127	○	▲

■工事管理項目 (3/4)

分類	項目名	記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
			国土交通省	大阪府				
工事件名等	**発注年度**	**2005**	工事の発注年度を記入する。		半角数字	4	◎	□
	工事番号	**174112345**	発注者が定める工事番号を記入する。	**設計書（金抜）にある契約番号（9桁）を記入。**	半角数字	127	◎	□
	路線水系名等	**一般府道池田岸和田線**	CORINSの「路線・水系名等」に従って記入する。	**設計書（金抜）にある路線河川名を記入。**	全角文字 半角英数字	64	○	■
	工事名称	**一般府道池田岸和田線改良工事**	CORINSの「工事件名」に従ってを記入する。	**設計書（金抜）にある工事名を記入。**	全角文字 半角英数字	127	◎	■
	施工金額	**1000000000**	CORINSの「請負金額」に従って記入する。		半角数字	16	◎	■
	CORINSバージョン番号		管理項目の記入で参照しているCORINSのマニュアル（コード表）のバージョン（システムのバージョン）を記入する。		半角数字	12	○	□
	工事分野		CORINSの「工事の分野」に従って記入する。		全角文字 半角英数字	16	◎	■
	工事業種		CORINSの「工事の業種」に従って記入する。		全角文字 半角英数字	16	◎	■
	工種	**一般土木工事**	CORINSの「工種、工法・形式」の工種を記入する。（複数記入可）		全角文字 半角英数字	64	◎	□
	工法型式		CORINSの「工種、工法・形式」の工法・型式を記入する。（複数記入可）		全角文字 半角英数字	64	◎	□
	住所コード	**27223**	代表地点又は、施工場所の開始場所及び終了場所のコードをCORINSコード表より選択し、記入する。（CORINSの「施工場所コード」に対応、複数記入可）	*CORINS のコード表に示される 27102 ～ 27385 の数字（5 桁）を記入。（複数記入可）*	半角数字	5	◎	□
	住所（施工場所）	**大阪府門真市中央3丁目**	代表地点又は、施工場所の開始場所及び終了場所（県名以下の住所）を、出来る限り詳細に記入する。（CORINSの「施工場所」に対応、複数記入可）	**必ず「大阪府」を記入後、設計書（金抜）にある工事場所を記入。**	全角文字 半角英数字	64	◎	■
	工事開始日	**2005-10-01**	工期の開始日を、CCYY-MM-DD方式（西暦年月日）で記入する。月日が１桁の数の場合"0"を付加して必ず10桁で記入する。（CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日）		半角数字	10	◎	■
	工事終了日	**2007-02-25**	工期の終了日を、CCYY-MM-DD方式（西暦年月日）で記入する。月日が１桁の数の場合"0"を付加して必ず11桁で記入する。（CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日）		半角数字	10	◎	■
	工事内容	**掘削土8500m3、土留め工2800m2、舗装工2800m2**	工事概要及び主工種とその数量を記入する。	**設計書（金抜）にある設計大要を記入。**	全角文字 半角英数字	127	◎	□
場所情報	**測地系**	**００**	日本測地系（旧測地系）、世界測地系（新測地系）の区分コードを記入する。日本測地系は「００」、世界測地系は「０１」を記入する。		半角数字	2	○	□
	起点側測点-n	**15**	（自）n＋m　nを4桁で記入する。		半角数字	4	○	□
	起点側測点-m	**8**	（自）n＋m　mを3桁で記入する。		半角数字	3	○	□
	終点側測点-n	**18**	（至）n＋m　nを4桁で記入する。		半角数字	4	○	□
	終点側測点-m	**5**	（至）n＋m　nを3桁で記入する。		半角数字	3	○	□
	起点側距離標-n		（自）n＋m　nを3桁で記入する。	*原則として空欄。*	半角数字	3	○	□
	起点側距離標-m		（自）n＋m　mを3桁で記入する。	*原則として空欄。*	半角数字	3	○	□
	終点側距離標-n		（至）n＋m　nを3桁で記入する。	*原則として空欄。*	半角数字	3	○	□
	終点側距離標-m		（至）n＋m　mを3桁で記入する。	*原則として空欄。*	半角数字	3	○	□
	西側境界座標経度	**1383730**	対象領域の最西端の外側境界の経度を記入する。 度（3桁）　分（2桁）　秒（2桁）		半角数字	7	○	□
	東側境界座標経度	**1384530**	対象領域の最東端の外側境界の経度を記入する。 度（3桁）　分（2桁）　秒（2桁）		半角数字	7	○	□
	北側境界座標緯度	**353500**	対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。 度（3桁）　分（2桁）　秒（2桁）		半角数字	7	○	□
	南側境界座標緯度	**352000**	対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。 度（3桁）　分（2桁）　秒（2桁）		半角数字	7	○	□

■工事管理項目（4/4）

分類	項目名	記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
			国土交通省	大阪府				
施設情報	**施設名称**	**中央高架橋**	施設名称を記入する。（複数記入可）		全角文字 半角英数字	64	◎	□
	施設コード	**020011011001P001**	施設コードを記入する。（複数記入可）	*施設コード表（大阪府編）のコードを記入。*	半角英数字	17	◎	□
発注者情報	**発注者・大分類**	**大阪府**	発注者の官庁名、団体名などを記入する。 （CORINSの「発注機関名・中分類」に対応）	*「大阪府」と記入。*	全角文字 半角英数字	16	◎	■
	発注者・中分類	**土木事務所**	発注者の局名、支社名などを記入する。 （CORINSの「発注機関名・小分類」に対応）	*CORINS の「発注機関名・小分類」より該当する名称を記入*	全角文字 半角英数字	32	◎	■
	発注者・小分類	**池田土木事務所**	事務所名などを記入する。 （CORINSの「発注機関名・細分類」に対応）	*CORINS の「発注機関名・細分類」より該当する名称を記入。*	全角文字 半角英数字	16	◎	■
	発注者機関コード	**32704001**	発注者機関コードをCORINSコード表から選択して記入する。	*327XXXXX（CORINS のコード 8 桁）*	半角数字	8	◎	■
請負者情報	**請負者名**	**キャルス建設株式会社**	請負者の正式名称を記入する。 （CORINSの「請負会社名」に対応）		全角文字 半角英数字	127	◎	■
	請負者コード	**6171234**	発注者が定める請負者コードを記入する。	**工事契約管理システムで使用するコードを記入。**	半角数字	32	○	□
予備			その他予備項目があれば記入する（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
ソフトメーカー用タグ			**ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。（複数記入可）**	***原則として空欄。***	全角文字 半角英数字	64	△	▲

3.6.2 打合せ簿管理項目

成果品の電子媒体に添付する打合せ簿管理ファイル（MEET.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

打合せ簿管理項目を次頁に示す。

次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。また、「記入内容（例）」の着色部は確定内容であり、それ以外のものは一例を示す。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。

（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。

（例） 大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥ ○
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥×

3）年月日の間にハイフン（‐）を挿入すること。

（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■打ち合わせ簿管理項目

分類	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
打合せ簿情報 ※1	**シリアル番号**		1	打合せ簿の通し番号を記入する。		半角数字	15	◎	□
	打合せ簿種類		**指示**	打合せ簿の種類を記入する。 （「指示」「承諾」「協議」「提出」「提示」「報告」「通知」）		全角文字 半角英数字	16	◎	□
	打合せ簿名称		**掘付に関する打合せ**	打合せ簿の表題を記入する。		全角文字 半角英数字	40	◎	□
	管理区分		**施工管理**	「施工管理」「安全管理」「出来形管理」「品質管理」「出来高管理」「原価管理」「工程管理」「写真管理」を記入する。		全角文字 半角英数字	16	○	□
	打合せ簿番号		2005-12-12-01	打合せ簿に記載している番号を記入する。（提出日順に番号記入する）	**発議年月日を以下に従って記入する。** **西暦（4）-月（2）-日（2）-枝番（2）**	半角英数字	15	○	□
	作成者		**キャルス建設株式会社：大阪太郎**	発行元と作成者を記入する。	*作成者が請負者の場合* *請負者名：作成者氏名* *作成者が発注者の場合* *発注者名：作成者氏名*	全角文字 半角英数字	40	◎	□
	提出先		**池田土木事務所**	打合せ簿の提出先（発注者、請負者）を記入する。	*提出先が発注者の場合* *事務所名* *提出先が請負者の場合* *請負業者名*	同上	40	◎	□
	発行日付		2005-12-12	発行した日付を記入する。CCYY-MM-DD方式（西暦年月日）で記入する。		半角数字	10	◎	□
	受理日付		2005-12-13	受理した日付を記入する。CCYY-MM-DD方式（西暦年月日）で記入する。		半角数字	10	◎	□
	完了日付		2005-12-16	発注者又は請負者が処理・回答した日付を記入する。		半角数字	10	○	□
	オリジナルファイル情報 ※2	**打ち合わせ簿オリジナルファイル名**	M0001_01.doc	打合せ簿のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		半角英数大文字	12	◎	□
		打ち合わせ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Word_2000	オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
		オリジナルファイル内容		オリジナルファイルの内容を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
	その他	**請負者説明文**		請負者側で打合せ簿につけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		発注者説明文		発注者側で打合せ簿につけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		予備		その他予備項目を記入する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□

3.6.3 施工計画書管理項目

成果品の電子媒体に添付する施工計画書管理ファイル（PLAN.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

施工計画書管理項目を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。

（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。

（例） **大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥** ○
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）年月日の間にハイフン（ - ）を挿入すること。

（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■施工計画書管理項目

分類	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
施工計画書情報 ※1	**シリアル番号**		**1**	施工計画書の通し番号を記入する。		半角数字	15	◎	□
	施工計画書名称		**施工計画書(現場施工編)**	施工計画書の標題を記入する。		全角文字 半角英数字	40	◎	□
	オリジナルファイル情報※2	**施工計画書 オリジナル ファイル名**	**PLA01_01.doc**	施工計画書のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		半角英数 大文字	12	◎	□
		施工計画書 オリジナル ファイル作成ソフトバージョン情報	**Microsoft_Word_2000**	オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
		オリジナル ファイル内容	**現場組織図**	オリジナルファイルの内容を記入する。		同上	127	◎	□
	その他	**請負者説明文**		請負者側で図書につけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		発注者説明文		発注者側で図書につけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		予備		その他予備項目を記入する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
ソフトメーカ用TAG				ソフトウェアメーカが管理のために使用する。。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	64	△	▲

※施工計画書情報以下は、施工計画書の数分を複数繰り返し登録する。
※オリジナルファイル情報は一つの施工計画書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

3.6.4 実施仕様書管理項目

成果品の電子媒体に添付する実施仕様書管理ファイル（BS.XML 及び DS.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

実施仕様書管理項目を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。

（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。

（例） **大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥** ○
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）年月日の間にハイフン（ - ）を挿入すること。

（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■実施仕様書管理項目

分類	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
実施仕様書情報 ※1	**資料名**		**実施仕様書**	実施仕様書ファイルの標題を記入する。	実施仕様書＝確定仕様書	全角文字 半角英数字	40	◎	□
	オリジナルファイル情報※2	**実施仕様書オリジナルファイル名**	**SPC001.doc**	実施仕様書のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		半角英数字	12	◎	□
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	**Microsoft_Word_2000**	実施仕様書オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
		オリジナルファイル内容	**ポンプ仕様書**	資料名では表現しきれない特記事項がある場合、オリジナルファイルの詳細内容を記入する。		同上	127	○	□
		施設コード※3	**020011011001P001**	施設コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*施設コード表（大阪府編）のコード表を記入。*	半角英数字	17	◎	□
	その他	**請負者説明文**		請負者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		発注者説明文		発注者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	同上	127	△	□
		予備		その他予備項目を記入する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	同上	127	△	□
ソフトメーカー用ＴＡＧ				ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	同上	64	△	▲

※1　実施仕様書情報以下は、実施仕様書情報の数分を複数繰り返し登録する。
※2　ファイル情報は、ファイルの数分を複数繰り返し登録する。
※3　施設コードは、施設コードの数分を複数繰り返し登録する。

3.6.5 計算書管理項目

成果品の電子媒体に添付する計算書管理ファイル（BC.XML 及び DC.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

計算書管理項目を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）**英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。**
（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）**住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。**
（例） 大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥ ○
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）**年月日の間にハイフン（‐）を挿入すること。**
（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■計算書管理項目

分類	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
計算書情報 ※1	**資料名**		**容量計算書**	計算書・検討書・数量表ファイルの標題を記入する。		全角文字 半角英数字	40	◎	□
	オリジナルファイル情報※2	**計算書オリジナルファイル名**	**CHECK001.doc**	計算書・検討書・数量表のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		半角英数字	12	◎	□
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	**Microsoft_Word_2000**	計算書・検討書・数量表オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
		オリジナルファイル内容		資料名では表現しきれない特記事項がある場合、オリジナルファイルの詳細内容を記入する。		同上	127	○	□
		施設コード※3	**020011011001P001**	施設コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*施設コード（大阪府編）のコードを記入。*	半角英数字	17	◎	□
	その他	**請負者説明文**		請負者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		発注者説明文		発注者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	同上	127	△	□
		予備		その他予備項目を記入する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	同上	127	△	□
ソフトメーカー用ＴＡＧ				ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	同上	64	△	▲

※1　計算書情報以下は、計算書情報の数分を複数繰り返し登録する。
※2　ファイル情報は、ファイル情報の数分を複数繰り返し登録する。

3.6.6 施工図面管理項目

成果品の電子媒体に添付する施工図面管理ファイル（BI.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

施工図面管理項目を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）**英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。**
（例）　06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）**住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。**
（例）　**大阪市中央区大手前 2 丁目**‥‥‥‥ ○
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）**年月日の間にハイフン（‐）を挿入すること。**
（例）　2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■施工図面管理項目

分類	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
					大阪府				
施工図面情報 ※1	資料名		施工図面	施工図面ファイルの標題を記入する。		全角文字 半角英数字	40	◎	□
	オリジナルファイル情報※2	施工図面オリジナルファイル名	INST001.sfc	施工図面のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		半角英数字	12	◎	□
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	osakaCADVer.1.00	施工図面オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
		オリジナルファイル内容		資料名では表現しきれない特記事項がある場合、オリジナルファイルの詳細内容を記入する。		全角文字 半角英数字	127	○	□
		施設コード※3	020011011001P001	施設コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*施設コード表（大阪府版）のコードを記入する。*	半角英数字	17	◎	□
	その他	請負者説明文		請負者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		発注者説明文		発注者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		予備		その他予備項目を記入する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
ソフトメーカー用ＴＡＧ				ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	64	△	▲

※1　施工図面情報以下は、施工図面情報の数分を複数繰り返し登録する。
※2　ファイル情報は、ファイル情報の数分を複数繰り返し登録する。
※3　施設コードは、施設コードの数分を複数繰り返し登録する。

3.6.7 機器図管理項目

成果品の電子媒体に添付する機器図管理ファイル（BD.XML 及び DD.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

機器図管理項目を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）**英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。**
（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）**住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。**
（例） 大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥ ○
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）**年月日の間にハイフン（‐）を挿入すること。**
（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■機器図管理項目

分類	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
機器図情報 ※1	資料名		機器製作図	機器図ファイルの標題を記入する。		全角文字 半角英数字	40	◎	□
	オリジナルファイル情報※2	機器図オリジナルファイル名	DEV001.sfc	機器図オリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		半角英数字	12	◎	□
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	osakaCADVer.1.00	機器図オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
		オリジナルファイル内容		資料名では表現しきれない特記事項がある場合、オリジナルファイルの詳細内容を記入する。		全角文字 半角英数字	127	○	□
		施設コード※3	020011011001P001	施設コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*施設コード表（大阪府編）のコード表を記入する。*	半角英数字	17	◎	□
		機器コード※3	DA010201010100	機器コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*河川・港湾設備については「工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編」の付属資料３による。下水設備については機器コード表（大阪府編）による。*	半角英数字	14	◎	□
	その他	請負者説明文		請負者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		発注者説明文		発注者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		予備		その他予備項目を記入する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
ソフトメーカー用ＴＡＧ				ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	64	△	▲

※1　機器図情報以下は、機器図情報の数分を複数繰り返し登録する。
※2　ファイル情報は、ファイル情報の数分を複数繰り返し登録する。
※3　施設コード及び機器コードは、施設コード及び機器コードの数分を複数繰り返し登録する。

3.6.8 施工管理記録管理項目

成果品の電子媒体に添付する施工管理記録管理ファイル（BE.XML 及び DE.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

施工管理記録管理項目を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）**英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。**
（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）**住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。**
（例） 大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥ ○
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）**年月日の間にハイフン（‐）を挿入すること。**
（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■施工管理記録管理項目

分類	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
施工管理記録書情報 ※1	**資料名**		**施工管理記録書**	工程管理、出来形管理・品質管理・工場試験・現地試験成績書ファイルの標題を記入する。		全角文字 半角英数字	40	◎	□
	オリジナルファイル情報※2	**施工管理記録書オリジナルファイル名**	**EXAM001.xls**	工程管理、出来形・工場試験・現地試験成績書のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		半角英数字	12	◎	□
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	**Microsoft_Excel_2000**	工程管理、出来形・工場試験・現地試験成績書オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
		オリジナルファイル内容		資料名では表現しきれない特記事項がある場合、オリジナルファイルの詳細内容を記入する。		全角文字 半角英数字	127	○	□
		施設コード※3	**020011011001P001**	施設コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*施設コード表（大阪府編）のコード表を記入する。*	半角英数字	17	◎	□
		機器コード※3	**DA010201010100**	機器コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*河川・港湾設備については「工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編」の付属資料３による。下水設備については機器コード表（大阪府編）による。*	半角英数字	14	◎	□
	その他	**請負者説明文**		請負者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		発注者説明文		発注者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		予備		その他予備項目を記入する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
ソフトメーカー用ＴＡＧ				ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	64	△	▲

※1　施工管理記録書情報以下は、施工管理記録書情報の数分を複数繰り返し登録する。　　※2　ファイル情報は、ファイル情報の数分を複数繰り返し登録する。

3.6.9 取扱説明書管理項目

成果品の電子媒体に添付する取扱説明書管理ファイル（BM.XML 及び DM.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

取扱説明書管理項目を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）**英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。**
（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）**住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。**
（例） **大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥ ○**
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）**年月日の間にハイフン（‐）を挿入すること。**
（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■取扱説明書管理項目

分類	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
取扱説明書情報 ※1	資料名		取扱説明書	取扱説明書、サービス体制ファイルの標題を記入する。		全角文字 半角英数字	40	◎	□
	オリジナルファイル情報※2	取扱説明書オリジナルファイル名	MAN001.xls	取扱説明書、サービス体制のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		半角英数字	12	◎	□
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Excel_2000	取扱説明書、サービス体制オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
		オリジナルファイル内容		資料名では表現しきれない特記事項がある場合、オリジナルファイルの詳細内容を記入する。		全角文字 半角英数字	127	○	□
		施設コード※3	02001101001P001	施設コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*施設コード表（大阪府編）のコード表を記入する。*	半角英数字	17	◎	□
		機器コード※3	DA010201010100	機器コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*河川・港湾設備については「工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編」の付属資料３による。下水設備については機器コード表（大阪府編）による。*	半角英数字	14	◎	□
	その他	請負者説明文		請負者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		発注者説明文		発注者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		予備		その他予備項目を記入する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
ソフトメーカー用ＴＡＧ				ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	64	△	▲

※1　取扱説明書情報以下は、取扱説明書情報の数分を複数繰り返し登録する。
※2　ファイル情報は、ファイル情報の数分を複数繰り返し登録する。
※3　施設コード及び機器コードは、施設コード及び機器コードの数分を複数繰り返し登録する。

3.6.10 台帳管理項目

成果品の電子媒体に添付する台帳管理ファイル（DL.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

台帳管理項目を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）**英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。**
（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）**住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。**
（例） 大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥ ○
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）**年月日の間にハイフン（‐）を挿入すること。**
（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■台帳管理項目

分類	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
台帳情報 ※1	資料名		台帳ファイル	台帳ファイルの標題を記入する。		全角文字 半角英数字	40	◎	□
	オリジナルファイル情報※2	台帳オリジナルファイル名	LDR.mdb	台帳のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		半角英数字	12	◎	□
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Access_2000	台帳オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
		オリジナルファイル内容		資料名では表現しきれない特記事項がある場合、オリジナルファイルの詳細内容を記入する。		全角文字 半角英数字	127	○	□
		施設コード※3	0200110110O1P001	施設コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*施設コード（大阪府編）のコードを記入。*	半角英数字	17	◎	□
	その他	請負者説明文		請負者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		発注者説明文		発注者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		予備		その他予備項目を記入する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
ソフトメーカー用ＴＡＧ				ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	64	△	▲

※1　台帳情報以下は、台帳情報の数分を複数繰り返し登録する。
※2　ファイル情報は、ファイル情報の数分を複数繰り返し登録する。
※3　施設コードは、施設コードの数分を複数繰り返し登録する。

3.6.11 施設台帳管理項目

成果品の電子媒体に添付する施設台帳ファイル（DLInnn_m.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

施設台帳管理項目を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）**英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。**
（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）**住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。**
（例）　大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥ ○
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）**年月日の間にハイフン（‐）を挿入すること。**
（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■施設台帳管理項目

分類	項　目　名	記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
			国土交通省	大阪府				
施設台帳情報　※1	施設コード	020011011001P001	施設コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	施設コード（大阪府編）のコードを記入。	半角英数字	17	◎	□
	地整名称	大阪府	地方整備局の名称を記入する。	「大阪府」と記入。	全角文字 半角英数字	64	○	□
	事務所名称	○○流域下水道事務所	事務所の名称を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	出張所名称		出張所の名称を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	施設名	○○流域下水道○○処理場	施設名（ダム・堰名、機場名、トンネル名等）を記入する。	施設コード表（大阪府編）の施設名（施設大分類）（施設小分類）を記入。	全角文字 半角英数字	64	◎	□
	読み	○○リュウイキゲスイドウ○○ショリジョウ	施設名の読み（全角カタカナ）を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
	位置住所	○○市○○2丁目	施設の住所を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	連絡先電話番号	000-000-0000	施設に電話がある場合電話番号を記入する。		半角英数字	20	○	□
	管理者名	○○流域下水道組合	管理者の名称を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	問合せ先電話番号	000-000-0000	管理者への問合せ先（電話番号等）を記入する。		半角英数字	64	○	□
	操作委託者	○○○、000-000-0000	操作委託者の名称、電話番号等を記入する。		全角文字 半角英数字	127	○	□
	用途	下水処理場	施設の用途を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	概要説明		施設の概要を記入する。		全角文字 半角英数字	127	○	□
	建築上屋	RC造	建築上屋の構造等を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	受電電圧ー動力	22000	受電電圧（複数ある場合は動力用の電圧）を記入する。単位　V（ボルト）		半角数字	20	○	□
	契約電力	2300	契約電力（動力）を記入する。単位　kw		半角数字	20	○	□
	関連基準等　準拠技術基準	JIS,JEM	施設及び設備の設計製作において準拠した主たる技術基準を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	関連基準等　騒音規制	(昼間55、朝夕50、夜間45)	騒音規制値（昼間、朝夕、夜間）を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	工種別情報		工種別情報（※２）を番号にて記入する。	*原則として空欄。*	半角数字	4	○	□
	工種別関連情報		「国土交通省　工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編」付属資料１の項目を続けて記入	*原則として空欄。*				
ソフトメーカー用ＴＡＧ			ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	64	△	▲

※1　施設台帳情報では、「工種別関連情報（施設関連情報、運転関連情報）」の情報を記入するが、工種により異なるため、「国土交通省　工事完成図書の電子納品 要領　機械設備工事編」 付属資料1による。

※2　工種別情報は、「国土交通省　工事完成図書の電子納品要領　機械設備工事編」 P.36工種別情報の番号表による。

3.6.12 機器台帳管理項目

成果品の電子媒体に添付する機器台帳管理ファイル（DLAnnn_m.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

機器台帳管理項目を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）**英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。**
（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）**住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。**
（例） 大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥ ○
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）**年月日の間にハイフン（‐）を挿入すること。**
（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■機器台帳管理項目
施設情報

分類	項　目　名	記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
			国土交通省	大阪府				
施設情報	**施設コード**	**020011011001P001**	施設コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	施設コード表（大阪府編）のコードを記入する。	半角英数字	17	◎	□
	施設名称	**一級河川寝屋川導水路太間排水機場**	施設の名称を記入する。	施設コード表（大阪府編）の施設名（施設大分類）（施設小分類）を記入する。。	全角文字 半角英数字	64	◎	□

■機器台帳管理項目
機器台帳情報

分類	項　目　名	記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
			国土交通省	大阪府				
機器台帳情報 ※1	**機器名**	**ポンプ**	機器の名称を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
	機器コード	**DA010201010100**	機器コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*河川・港湾設備については「工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編」の付属資料３による。下水設備については機器コード表（大阪府編）による。*	半角英数字	14	◎	□
	施工年月	**2005-12-10**	機器の設置年月をCCYY-MM-DD方式（西暦年月日）で記入する。（CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日）		半角英数字	20	◎	▲
	施工内容	**設置**	設置、改造、修理、更新、撤去の区別を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
	形式	**立軸斜流形**	機器の形式を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
	号機番号	**1号機**	号機を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	用途	**雨水排水用**	機器の用途を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	納入業者名	**○○株式会社**	設備の請負業者名を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	▲
	製造メーカー名	**○○株式会社**	製造メーカを記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	製造メーカ型式型番	**AB12345**	製造メーカの型式型番を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	製造メーカ製造番号	**1234**	製造メーカ名の製造番号を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□
	機器個別種類		機器の個別種類を番号で記入する。※２	*原則として空欄。*	半角英数字	4	○	□
	機器個別情報		付属資料２の項目を続けて記入	*原則として空欄。*				
	備考※３		備考（追加情報）を記入する。（複数記入可）		全角文字 半角英数字	64	△	□
ソフトメーカー用ＴＡＧ			ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	64	△	▲

※1　機器台帳情報以下は、機器の数分を複数繰り返し登録する。
※2　機器個別種類は、別表から番号を選択し、記入する。なお、機器台帳の個別管理項目は機器により異なるため 国土交通省電子納品要領　付属資料2による。(当面は空欄とする。)
※3　備考は特記すべき事項がある場合、メモ形式で記入する。

3.6.13 その他資料管理項目

成果品の電子媒体に添付するその他資料（工事履行報告書、段階確認書）管理ファイル（OTHRS.XML）には、国土交通省の基準に示される項目を記入する。

その他資料（工事履行報告書又は段階確認書、その他）管理項目を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】　□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。
（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。
（例） **大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥ ○**
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）年月日の間にハイフン（‐）を挿入すること。
（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■その他資料管理項目

分類	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
その他資料情報 ※1	**シリアル番号**		**1**	工事履行報告書又は段階確認書、その他に付けられている通し番号を記入する。		半角英数字	15	◎	□
	資料名		**工事履行報告書**	工事履行報告書又は段階確認書、その他の標題を記入する。		全角文字 半角英数字	40	◎	□
	その他資料種類		**工事履行報告書**	その他資料の種類を記入する。（「工事履行報告書」「段階確認書」「その他」）		全角文字 半角英数字	16	◎	□
	保管場所			保管する場所を記入する。		全角文字 半角英数字	40	○	□
	オリジナルファイル情報※2	**オリジナルファイル名**	**0THRS001.doc**	その他資料のオリジナルファイル名を記入する。（拡張子を含む）		半角英数大文字	12	◎	□
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	**Microsoft_Word_2000**	取扱説明書、サービス体制オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報を記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
		オリジナルファイル内容		資料名では表現しきれない特記事項がある場合、オリジナルファイルの詳細内容を記入する。		全角文字 半角英数字	127	○	□
		施設コード※3	**020011011001P001**	施設コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	施設コード表（大阪府編）のコードを記入する。	半角英数字	17	◎	□
		機器コード※3	**DA010201010100**	機器コードを記入する。コード体系は付属資料３による。	*河川・港湾設備については「工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編」の付属資料３による。下水設備については機器コード表（大阪府編）による。*	半角英数字	14	○	□
	その他	**請負者説明文**		請負者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		発注者説明文		発注者側でつけるコメントを記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
		予備		その他予備項目を記入する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
ソフトメーカー用ＴＡＧ				ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	64	△	▲

4． CAD 製図基準運用ガイドライン

4.1 適用

工事完成図書の完成図面及び機械電気設備設計業務の図面について、基本的に「CAD 製図基準（案）機械設備工事編」（国土交通省）に従い電子納品を行う。また、納品に際しては、次章に定める CAD データ交換フォーマット（sfc 形式）を基本とする。

図面の CAD データは、上記のとおり「CAD 製図基準（案）機械設備工事編」に準拠し電子納品を行うものとするが、図面の大きさ、図面の正位、輪郭と余白及び表題欄については、「測量、調査作業及び業務委託等必携」（平成 10 年 4 月　大阪府土木部監修）に従う。

4.2 CAD データ交換フォーマット

CAD データ交換フォーマットは、原則として SXF（sfc 形式）とする。

国土交通省では、CAD データ交換フォーマットは原則として SXF（part21 形式：ISO 国際標準準拠）と定められているが、大阪府では、原則としてファイルサイズの小さい sfc 形式とする。ただし、これによることが困難な場合においては、受発注者間で協議の上、フォーマット形式を決定することができる。

参　考

SXF の物理ファイルには、以下に示す 2 種類のファイルがある。

（1）ｐ21（Part21）形式（拡張子.p21）

ISO 規格 STEP/AP202 のルールに準拠したファイル形式で、国際的に通用する形式。

（2）sfc 形式（拡張子.sfc）

STEP/AP202 のコメントの形で書かれたファイル形式で、上記ファイル形式と同等の情報交換が可能。ファイルサイズが格段に小さい。（Scadec Feature Comment file）

4.3 図面管理項目

成果品の電子媒体に添付する図面管理ファイル（DRAWING.XML、DRAWINGS.XML **および** D_DRAWF.XML**）には、国土交通省の基準に示されるソフトウェア情報、図面情報からなる管理項目を記入する。**

図面管理項目（ソフトウェア情報、図面情報）を次頁に示す。
次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】

□：電子媒体作成者が記入する項目
▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入項目
○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
△：任意記入項目

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。
また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）**英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。**
（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）**住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。**
（例）　大阪市中央区大手前 2 **丁目‥‥‥‥ ○**
大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×
大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）**年月日の間にハイフン（ - ）を挿入すること。**
（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○
20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■図面管理項目(1/2)

No.	分類	項目名	記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
1	図面情報※1	図面名	平面図	表題欄に記述する図面名を記入する。		全角文字 半角英数字	20	◎	□
2		図面ファイル名	D0PL001Z.sfc	図面ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。	*ファイル形式は、sfcとする。*	全角文字 半角英数字	12	◎	□
3		作成者名	キャルス調査株式会社	標題欄に記述する会社名を記入する。		全角文字 半角英数字	30	◎	□
4		図面ファイル作成ソフトウェア名	osakaＣＡＤVer.1。００	図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。		全角文字 半角英数字	64	◎	□
5		図面尺度	１：１０００	図面尺度を記入する。　　複数の尺度が混在する場合は、代表尺度を記入する。		半角英数字	10	◎	□
6		図面番号	1	表題欄に記述する図面番号を記入する。	*表題欄に記載されている図面番号の分子を記入。*	半角数字	3	◎	□
7		施設コード※３	020011011001P001	施設コードを記入する。	施設コード表（大阪府編）のコードを記入する。	半角英数字	17	◎	□
8		機器コード※３	DA010201010100	機器コードを記入する。	*河川・港湾設備については「工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編」の付属資料３による。下水設備については機器コード表（大阪府編）による。*	半角英数字	12	◎	□
9		工期終了日	2007-2-20	工期の終了年月日を記入する。		半角英数字	10	○	▲
10	場所情報※2	測地系	00	日本測地系（旧測地系）、世界測地系（新測地系）の区分コードを記入する。日本測地系は「００」、世界測地系は「０１」を記入する。		半角数字	2	○	□
11		起点側測点-n	15	（自）n＋m　nを4桁で記入する。		半角英数字	4	○	□
12		起点側測点-m	8	（自）n＋m　mを3桁で記入する。		半角英数字	3	○	□
13		終点側測点-n	18	（至）n＋m　nを4桁で記入する。		半角英数字	4	○	□
14		終点側測点-m	5	（至）n＋m　nを3桁で記入する。		半角英数字	3	○	□
15		起点側距離標-n		（自）n＋m　nを3桁で記入する。	*原則として空欄。*	半角英数字	4	○	□
16		起点側距離標-m		（自）n＋m　mを3桁で記入する。	*原則として空欄。*	半角英数字	3	○	□
17		終点側距離標-n		（至）n＋m　nを3桁で記入する。	*原則として空欄。*	半角英数字	4	○	□
18		終点側距離標-m		（至）n＋m　mを3桁で記入する。	*原則として空欄。*	半角英数字	3	○	□
19		西側境界座標経度	1383730	輪郭線内の対象領域の最西端の座標を経度で表す。 度（3桁）　分（2桁）　秒（2桁）		半角英数字	7	○	□
20		東側境界座標経度	1383730	輪郭線内の対象領域の最東端の座標を経度で表す。 度（3桁）　分（2桁）　秒（2桁）		半角英数字	7	○	□
21		北側境界座標緯度	0353730	輪郭線内の対象領域の最北端の座標を緯度で表す。 度（3桁）　分（2桁）　秒（2桁）		半角英数字	7	○	□
22		南側境界座標緯度	0353730	輪郭線内の対象領域の最南端の座標を緯度で表す。 度（3桁）　分（2桁）　秒（2桁）		半角英数字	7	○	□
23		平面直角座標系	06	平面直角座標（１９系）の系番号で記入する。	*「06」と記入。*	半角英数字	2	○	□
24		西側境界平面直角座標	-36357.294	輪郭線内の対象領域の対象領域の最西端座標をＹ座標で記入する。	*正負:1桁、Y座標:整数値6桁以下、小数点1桁、小数点以下最大3桁で記入する。*	半角英数字	11	○	□
25		東側境界平面直角座標	-33357.294	輪郭線内の対象領域の対象領域の最東端座標をＹ座標で記入する。	*正負:1桁、Y座標:整数値6桁以下、小数点1桁、小数点以下最大3桁で記入する。*	半角英数字	11	○	□
26		北側境界平面直角座標	-8548.682	輪郭線内の対象領域の対象領域の最北端座標をＸ座標で記入する。	*正負:1桁、X座標:整数値6桁以下、小数点1桁、小数点以下最大3桁で記入する。*	半角英数字	11	○	□
27		南側境界平面直角座標	-8548.682	輪郭線内の対象領域の対象領域の最南端座標をＸ座標で記入する。	*正負:1桁、X座標:整数値6桁以下、小数点1桁、小数点以下最大3桁で記入する。*	半角英数字	11	○	□
28		詳細住所	大阪府高槻市山奥4丁目	輪郭線内の対象領域の詳細住所を記入する。		全角文字 半角英数字	64	○	□

■図面管理項目(2/2)

No.	分類		項目名	記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
					国土交通省	大阪府				
29	図面情報	1	基準点情報緯度	0353730	図面中の１点の緯度を記入する。　度（３桁）　分（２桁）　秒（２桁）		半角英数字	7	○	□
30			基準点情報経度	1383730	図面中の１点の経度を記入する。　度（３桁）　分（２桁）　秒（２桁）		半角英数字	7	○	□
31			基準点情報 平面直角座標 系番号	０６	図面中の１点の場所情報を平面直角座標（１９系）の系番号で記入する。	*「０６」と記入。*	半角英数字	2	○	□
32			基準点情報 平面直角座標 X座標	-88548.682	図面中の１点の場所情報を平面直角座標（１９系）をX座標で記入する。	*正負：１桁、X座標：整数値６桁以下、小数点１桁、小数点以下最大３桁で記入する。*	半角英数字	11	○	□
33			基準点情報 平面直角座標 Y座標	-33357.294	図面中の１点の場所情報を平面直角座標（１９系）をY座標で記入する。	*正負：１桁、Y座標：整数値６桁以下、小数点１桁、小数点以下最大３桁で記入する。*	半角英数字	11	○	□
34		その他	受注者説明文		受注者側で図面に付けるコメントを記入する。新規レイヤ作成時の記入事項を記入する。		全角文字 半角英数字	128	△	□
35			発注者説明文		発注者側で図面に付けるコメントを記入する。		全角文字 半角英数字	128	△	□
36			成果品保存場所		紙図面の成果品の保存場所を記入する。		全角文字 半角英数字	40	○	□
37			予備※４		その他予備項目を記入する。		全角文字 半角英数字	128	△	□
38	ソフトメーカー用タグ				ソフトウェア予備項目を記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	64	△	▲

※１図面情報及びその他は、図面の枚数分を複数回繰り返す。場所情報及び基準点情報の記入方法については、「ＣＡＤ製図基準（案）機械設備工事編」（平成１６年３月　国土交通省）P.24～P.26参照。

※２「位置図」、「一般図」の場所情報を記入する。

※３施設コードは施設コード表（大阪府編）による。機器コードは河川・港湾設備については国土交通省「工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編」の付属資料３による。下水設備については機器コード表（大阪府編）による。また、施設全体に関わる据付平面図、据付断面図等の機器コード欄は0（ゼロ）で埋める。測量や設計業務で作図する図面の場合、省略可とする。施設や機器が複数ある場合は、数分を複数回繰り返す。

※４図面表題欄（標準様式）と異なる様式の表題欄（図面作成者独自の表題欄）を併用する場合は、標準様式の表題欄に記載の図面番号をここに記入する。

5． デジタル写真管理情報基準運用ガイドライン

5.1 適用

写真等（工事・測量・調査・地質・広報・設計）は、基本的に「デジタル写真管理情報基準（案)」（国土交通省）に従い電子納品を行う。

写真データは、「デジタル写真管理情報基準（案)」（国土交通省）を準拠し電子納品を行う。また、工事写真の撮影箇所等は、「土木請負工事必携」（大阪府土木部監修）に従う。

5.2 ファイル仕様

ファイル仕様は、以下の通りとする。
写真ファイル　：JPEG
参考図ファイル：JPEG **もしくは** TIFF（G4）

写真データの画像ファイル形式は、JPEG とし、有効画素数は黒板の文字が確認できる程度（100 万画素程度）とする。参考として、画像サイズ・圧縮率と容量の参考値を以下に示す。以下の場合、M2-ファイン程度が推奨画素数に相当する。

表 5.1　320 **万画素相当のデジタルカメラにおけるファイル容量の一例**

画像サイズ	圧縮率	ファイル容量
L（ラージ） 2048×1536 画素 （315 万画素）	スーパーファイン	1.044 MB
	ファイン	0.578 MB
	ノーマル	0.223 MB
M1（ミドル 1） 1600×1200 画素 （192 万画素）	スーパーファイン	0.626 MB
	ファイン	0.356 MB
	ノーマル	0.150 MB
M2（ミドル 2） 1024×768 画素 （79 万画素）	スーパーファイン	0.275 MB
	ファイン	0.162 MB
	ノーマル	0.068 MB
S（スモール） 640×480 画素 （31 万画素）	スーパーファイン	0.110 MB
	ファイン	0.067 MB
	ノーマル	0.031 MB

5.3 写真管理情報

成果品の電子媒体に添付する写真管理ファイル（PHOTO.XML）には、国土交通省の基準に示される基準情報、ソフトウェア情報及び写真情報からなる管理項目を記入する。デジタル写真のみ電子納品を行う場合は、工事情報についても記入する。

写真管理項目（ソフトウェア情報、図面情報）を次頁に示す。デジタル写真のみ電子納品を行う場合は、工事情報についても「第 3 章　工事完成図書の電子納品ガイドライン」に従い記入する。

次頁に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、以下の通りである。

【記入者】

□：電子媒体作成者が記入する項目

▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】

◎：必須記入項目

○：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）

△：任意記入項目。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

■：電子納品対象工事については記入しない。
電子納品対象外工事でデジタル写真のみ納品する場合については、必要度に応じて記入する

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

また記入内容（例）のうち、大阪府の欄については、次のとおりとする。

- **太字＝大阪府土木部が独自に判断した事項**
- **斜字＝国土交通省の記載事項の具体的な説明**
- **空欄＝国土交通省と同じ見解**

※記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1）英字及び数字（ハイフン等記号含む）はすべて半角文字とすること。

（例） 06-6941-0351‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○

０６－６９４１－０３５１‥‥‥ ×

2）住所は「丁目」まで記入し、数字は半角とすること。

（例） 大阪市中央区大手前 2 丁目‥‥‥‥ ○

大阪市中央区大手前２‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

大阪市中央区大手前二丁目‥‥‥‥‥‥‥‥×

3）年月日の間にハイフン（‐）を挿入すること。

（例） 2003-08-10‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ○

20030810‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥×

■写真管理項目 (1/2)

カテゴリー	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
基礎情報	写真フォルダ名		PHOTO/PIC	写真を格納するフォルダ名称（PHOTO／PICで固定）を記入する。		半角英大文字	127	◎	▲
	参考図フォルダ名		PHOTO/DRA	参考図ファイルを格納するために「DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称（PHOTO／DRAで固定）を記入する。		半角英大文字	127	○	▲
	適用要領基準		土木200406-01	電子納品の作成で適用した要領・基準の版を記入する。（「土木200406-01」→分野：土木、西暦年：2004、版：01）		全角文字 半角英数字	64	◎	▲
写真情報※	写真ファイル情報	シリアル番号	1234	写真と通し番号。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、中抜けしてもよい。123枚目を”000123”のように0を付けて記入してはいけない。		半角数字	7	◎	▲
		写真ファイル名	P0000001.JPG	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。		半角英数大文字	12	◎	▲
		写真ファイル日本語名	出来形0001.JPG	写真ファイルに関する日本語名等を記入する。		全角文字 半角英数字	127	△	□
		メディア番号	1	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば、全て”１”となる。		半角数字	8	◎	□
	撮影工種区分	写真・大分類	工事	写真を撮影した業務の種別を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して記入する。工事写真ｈ常に「工事」と記入する。		全角文字 半角英数字	8	◎	□
		写真区分	出来形管理写真	写真管理基準（案）の分類に準じ、「着手前及び完成写真」（既済部分写真等を含む）「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「その他（公害、環境、補償等）」の区分のいずれかを記入する。大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。		全角文字 半角英数字	127	○	□
		工種	舗装修繕工	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル２「工種」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完了写真：×」「施工状況写真：△」「安全管理写真：△」「使用材料写真：△」「品質管理写真：○」「出来形管理写真：○」「災害写真：×」「その他：×」とする。（○：記入、△：記入可能な場合は記入、×：記入は不要とし空欄とする）大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。		全角文字 半角英数字	127	○	□
		種別	舗装打替え工	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル３「種別」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完了写真：×」「施工状況写真：△」「安全管理写真：△」「使用材料写真：△」「品質管理写真：○」「出来形管理写真：○」「災害写真：×」「その他：×」とする。（○：記入、△：記入可能な場合は記入、×：記入は不要とし空欄とする）大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。		全角文字 半角英数字	127	○	□
		細別	下層路盤	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル４「細別」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完了写真：×」「施工状況写真：△」「安全管理写真：△」「使用材料写真：△」「品質管理写真：○」「出来形管理写真：○」「災害写真：×」「その他：×」とする。（○：記入、△：記入可能な場合は記入、×：記入は不要とし空欄とする）大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。		全角文字 半角英数字	127	○	□

■写真管理項目(2/2)

カテゴリー	項目名		記入内容（例）	記入内容説明		データ表現	文字数	必要度	記入者
				国土交通省	大阪府				
写真情報 ※	写真ファイル情報	写真タイトル	路盤(1層目)出来形測定	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準（案）の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。		全角文字 半角英数字	127	◎	□
		工種区分予備		工種区分に関して特筆事項があれば記入する。（複数記入可）		全角文字 半角英数字	127	△	□
	付加情報 ※	参考図ファイル名	D0000001.jpg	撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。		半角英数大文字	12	◎	▲
		参考図ファイル日本語名	位置平面図00001JPG	参考図ファイルに関する日本語名等を記入する	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	○	□
		参考図タイトル	位置平面図	参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。		全角文字 半角英数字	127	◎	□
		付加情報予備		参考図、撮影箇所等に関して特筆事項があれば記入する。（複数記入可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
	撮影情報	撮影箇所	測点：１Ｌ	当該写真に関する側点情報、撮影対象までの距離、撮影内容等を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置図が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。		全角文字 半角英数字	127	○	□
		撮影年月日	2007-03-12	写真を撮影した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が１桁の数の場合「０」を付加して必ず10桁で記入する。　（CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日）		半角数字・(HYPEN-MINUS)	10	○	□
	代表写真		1	工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「１」を記入する。代表写真でない場合は未記入とする。	*原則として空欄。*	半角数字	1	○	□
	施工管理値		設計寸法:400mm 実測寸法:405mm	黒板の判読が不可能な場合、設計寸法及び実測寸法等の補足事項を記入する。	*小黒板の判読が困難な場合に記入。*	全角文字 半角英数字	127	○	□
	請負者説明文			請負者側で検査立会者、特筆事項があれば記入する。	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	□
ソフトメーカ用ＴＡＧ				ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数入力可）	*原則として空欄。*	全角文字 半角英数字	127	△	▲

※複数ある場合はこの項を必要な回数繰り返す。

大阪府土木部電子納品要領（案）［設備工事編］

平成 17 年 3 月 30 日　公表

発行　大阪府土木部事業管理室建設 CALS 推進 G
TEL　（06）6941-0351　内 2947、2948
E-mail　dobokujikan-g11@sbox.pref.osaka.jp

施設コード表（大阪府編）

｛e｝　施設大分類

｛ f｝　施設小分類

施設機器コードについて

詳細は国土交通省「工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編」付属資料3による。

このコード表は、施設コードのうちの（e）（f）を定めるものである。a～d についてはCORINSのコードを記載すること。

					下水道施設の場合
		国土交通省区分	国土交通省説明	形　　式	表現内容	下水機器台帳分類
施設コード	a	発注者の大分類	CORINSの大区分	1桁半角数字	大阪府	
	b	発注者の中分類	CORINSの中区分	2桁半角数字	下水道事務所	
	c	発注者の小分類	CORINSの小区分	2桁半角数字	○○流域下水道事務所	
	d	発注者の細分類	CORINSの細区分	3桁半角数字		
	e	施設大分類	TECRISの業務対象水系･路線名	5桁半角数字	○○流域下水道	流域名
	f	施設小分類	水門･排水機場等施設の区分	1桁半角英字＋3桁半角数字	○○処理場	事業所
機器コード	g	設備大分類	非常用洪水吐設備、分流水門設備等の設備区分	2桁半角英数字	沈砂池設備	大分類名
	h	設備小分類	主ゲート、制水ゲート等の水門扉の区分	2桁半角数字	沈砂設備	中分類名
	i	設備区分番号	水門扉が複数ある場合に区分する数字	2桁半角数字	系列	系列名
	j	機器名（部位）	扉体、戸当たり等の部位の区分	2桁半角数字	自動除塵機	小分類名
	k	機器区分番号	同一機器等が複数ある場合に区分する数字	2桁半角数字	号機	複数ある場合の号機分け
	l	詳細		2桁半角数字	－	
	m	詳細区分番号		2桁半角数字	－	

※　a～f までは施設コード、g～m までは機器コードである。

※　施設名を表すe、f　については次項以降のコード表を参照のこと。

※　a～kまでは必須項目

施設大分類（e）	コード	施設小分類（f）	コード
一級河川寝屋川導水路	10001	太間排水機場	P001
		寝屋川分水施設	G001
		寝屋川導水路	G002
一級河川寝屋川	10002	寝屋川分水施設	G003
一級河川打上川	10003	打上川治水緑地	G004

施設大分類	コード	施設小分類	コード
一級河川安治川（旧淀川）	10101	安治川水門	G001
		安治川右岸樋門	G002
一級河川尻無川	10102	尻無川水門	G101
		尻無川右岸1号鉄扉	G102
		尻無川左岸1号鉄扉	G103
		尻無川左岸2号鉄扉	G104
		尻無川左岸3号鉄扉	G105
		尻無川左岸4号鉄扉	G106
		尻無川左岸5号鉄扉	G107
		尻無川左岸6号鉄扉	G108
		尻無川左岸7号鉄扉	G109
		尻無川左岸8号鉄扉	G110
		尻無川左岸9号鉄扉	G111
		尻無川左岸10号鉄扉	G112
		尻無川左岸11号鉄扉	G113
		尻無川左岸12号鉄扉	G114
		尻無川左岸12-1号鉄扉	G115
		尻無川左岸13号鉄扉	G116
		尻無川左岸14号鉄扉	G117
		尻無川左岸15号鉄扉	G118
		尻無川左岸16号鉄扉	G119
		尻無川左岸17号鉄扉	G120
		尻無川左岸18号鉄扉	G121
		尻無川左岸19号鉄扉	G122
一級河川旧淀川	10103	毛馬排水機場	P301
一級河川土佐堀川	10104	天神ポンプ所	P401

施設大分類（e）	コード	施設小分類（f）	コード
一級河川木津川	10105	木津川水門	G201
		三軒家水門	G202
		木津川左岸樋門	G203
		木津川左岸樋門（千島土地）	G204
		木津川右岸1号鉄扉	G205
		木津川右岸2号鉄扉	G206
		木津川右岸3号鉄扉	G207
		木津川右岸4号鉄扉	G208
		木津川右岸5号鉄扉	G209
		木津川右岸6号鉄扉	G210
		木津川右岸7号鉄扉	G211
		木津川右岸8号鉄扉	G212
		木津川左岸2号鉄扉	G213
		木津川左岸3号鉄扉	G214
		木津川左岸4号鉄扉	G215
		木津川左岸6号鉄扉	G216
		木津川左岸7号鉄扉	G217
		木津川左岸9号鉄扉	G218
		木津川左岸10号鉄扉	G219
		木津川左岸19号鉄扉	G220
		木津川左岸21号鉄扉	G221
		木津川左岸22号鉄扉	G222
		木津川左岸23号鉄扉	G223
		木津川左岸24号鉄扉	G224
		木津川左岸25号鉄扉	G225
		木津川左岸28号鉄扉	G226
		木津川左岸29号鉄扉	G227
		木津川左岸30号鉄扉	G228
		木津川左岸33号鉄扉	G229
		西大阪治水事務所	Z001

施設大分類（e）	コード	施設小分類（f）	コード
一級河川正連寺川	10106	正連寺川水門	G301
		恩貴島右岸鉄扉	G302
		恩貴島左岸鉄扉	G303
		正連寺川右岸1号鉄扉	G304
		正連寺川右岸2号鉄扉	G305
		正連寺川右岸3号鉄扉	G306
		正連寺川右岸5号鉄扉	G307
		正連寺川右岸6号鉄扉	G308
一級河川六軒家川	10107	六軒家川水門	G401
		六軒家川左岸1号鉄扉	G402
一級河川神崎川	10108	出来島水門	G501
		旧猪名川水門	G502
		旧猪名川排水機場	P501
		番田水門	G503
		神崎川水質浄化施設	C001
		クボタ1号鉄扉	G504
		クボタ2号鉄扉	G505
		クボタ3号鉄扉	G506
		合同製鉄鉄扉	G507
		中山興業鉄扉	G508
		千北橋左岸鉄扉	G509
		千北橋右岸鉄扉	G510
		大和田船溜鉄扉	G511
		千船大橋左岸鉄扉	G512
		千船大橋右岸鉄扉	G513
		神崎大橋左岸鉄扉	G514
		神崎大橋右岸鉄扉	G515
		左門橋左岸鉄扉	G516
		阪急神戸線左岸鉄扉	G517
		阪急神戸線右岸鉄扉	G518
		神崎川出張所	Z002

施設大分類（e）	コード	施設小分類（f）	コード
一級河川寝屋川（調節池）	10201	香里西調節池	P601
		大正川調節池	P602
		志紀調節池	P603
		布施駅前調節池	P604
		三ツ島調節池	P605
		南郷調節池	P606
		長瀬調節池	P607
		御幸西調節池	P608
		中鴻池調節池	P609
		一番町調節池	P610
		萱島調節池	P611
		大久保調節池	P612
		東諸福調節池	P613
		平野川街路下調節池	P614
		古川調節池	P615
		加美調節池	P616
		久宝寺調節池	P617
寝屋川流域（水門）	10202	長瀬川水門	G601
		古川浄化水門	G602
		古川水門	G603
		城北寝屋川口水門	G604
		城北大川口水門	G605

施設大分類（e）	コード	施設小分類（f）	コード
寝屋川流域（治水緑地）	10203	寝屋川治水緑地	G701
		恩智川治水緑地	G702
		花園多目的遊水地	G703
寝屋川流域（浄化施設）	10204	平野川浄化ポンプ場	C101
		御神田川浄化施設	C102
		音川浄化施設	C103
		花園浄化施設	C104
寝屋川流域（その他）	10205	平野川分水路排水機場	P801
		寝屋川水系改修工営所	Z101
		住道新橋止水用鉄扉	G801
		恩智川堰	G802
		樋門樋管	G803
		深野北ポンプ場（一部）	P901

施設大分類(e)	コード	施設小分類(f)	コード
泉州海岸	30001	堅川･緑川排水機場	P001
		新川排水機場	P002
		八軒川排水機場	P003
		北境川排水機場	P004
		田尻川排水機場	P005
		大里川排水機場	P006
		車屋川排水機場	P007
		新浜川排水機場	P008
		谷川港排水施設	P009
		阪南3区排水施設	P010
		堺市	G001
		高石市	G002
		泉大津市	G003
		忠岡町	G004
		岸和田市	G005
		貝塚市	G006
		泉佐野市	G007
		田尻町	G008
		泉南市	G009
		阪南市	G010
		岬町	G011

施設大分類(e)	コード	施設小分類(f)	コード
港湾局	30002	本庁舎	Z201
堺泉北港	30003	堺1区	G201
		堺2区	G202
		堺3区	G203
		堺4区	G204
		堺5区	G205
		堺6区	G206
		堺7区	G207
		泉北1区	G208
		泉北2区	G209
		泉北3区	G210
		泉北4区	G211
		泉北5区	G212
		泉北6区	G213
		泉北7区	G214
阪南港	30004	木材港地区	G301
		岸和田旧港地区	G302
		阪南1区	G303
		阪南2区	G304
		阪南3区	G305
		阪南4区	G306
		阪南5区	G307
		阪南6区	G308
		阪南7区	G309

施設大分類(e)	コード	施設小分類(f)	コード
二色港	30005	貝塚地区	G401
泉佐野港	30006	泉佐野地区	G411
尾崎港	30007	尾崎地区	G421
淡輪港	30008	淡輪地区	G431
深日港	30009	深日地区	G441
		多奈川地区	G451
泉州港	30010	北港地区	G461
堺(出島)漁港	30011	堺(出島)漁港	G471
石津漁港	30012	石津漁港	G481
高石漁港	30013	高石漁港	G491
岸和田漁港	30014	岸和田漁港	G501
佐野漁港	30015	佐野漁港	G511
田尻漁港	30016	田尻漁港	G521
岡田漁港	30017	岡田漁港	G531
西鳥取漁港	30018	西鳥取漁港	G541
下荘漁港	30019	下荘漁港	G551
淡輪漁港	30020	淡輪漁港	G561
深日漁港	30021	深日漁港	G571
小島漁港	30022	小島漁港	G581

施設大分類(e)	コード	施設小分類(f)	コード
流域名		事業所	
猪名川流域下水道	40001	原田処理場	W001
		その他	W099
安威川流域下水道	40002	中央処理場	W100
		岸部ポンプ場	W101
		味舌ポンプ場	W102
		穂積ポンプ場	W103
		摂津ポンプ場	W104
		その他	W199
淀川右岸流域下水道	40003	高槻処理場	W200
		前島ポンプ場	W201
		その他	W219
淀川左岸流域下水道	40004	渚処理場	W220
		石津中継ポンプ場	W221
		その他	W299

施設大分類(e)	コード	施設小分類(f)	コード
流域名		事業所	
寝屋川北部流域下水道	40005	鴻池処理場	W300
		菊水ポンプ場	W301
		太平ポンプ場	W302
		氷野ポンプ場	W303
		桑才ポンプ場	W304
		茨田(古川)ポンプ場	W305
		茨田(中継)ポンプ場	W306
		深野北ポンプ場	W307
		枚方中継ポンプ場	W308
		寝屋川中継ポンプ場	W309
		萱島ポンプ場	W310
		増補幹線設備	W311
		その他	W349
寝屋川南部流域下水道	40006	川俣処理場	W350
		小阪ポンプ場	W351
		新家ポンプ場	W352
		深野ポンプ場	W353
		長吉ポンプ場	W354
		寺島ポンプ場	W355
		小阪合ポンプ場	W356
		川俣ポンプ場	W357
		新池島ポンプ場	W358
		植付ポンプ場	W359
		増補幹線設備	W360
		その他	W399

施設大分類(e)	コード	施設小分類(f)	コード
流域名		事業所	
大和川下流南部流域下水道	40007	狭山処理場	W400
		錦郡中継ポンプ場	W401
		長野中継ポンプ場	W402
		その他	W419
大和川下流西部流域下水道	40008	今池処理場	W420
		今井戸川系ポンプ場	W421
		今井戸系ポンプ場	W422
		西除系ポンプ場	W423
		その他	W439
大和川下流東部流域下水道	40009	大井処理場	W440
		川面中継ポンプ場	W441
		小吹台中継ポンプ場	W442
		その他	W499
南大阪湾岸北部流域下水道	40010	北部処理場	W500
		和泉中継ポンプ場	W501
		その他	W519
南大阪湾岸中部流域下水道	40011	中部処理場	W520
		その他	W539
南大阪湾岸南部流域下水道	40012	南部処理場	W540
		淡輪中継ポンプ場	W541
		深日中継ポンプ場	W542
		その他	W549

機器コード表（大阪府編）
～　下水設備　～

〔g〕　設備大分類

〔h〕　設備小分類

〔 j〕　機器名（部位）

施設機器コードについて

詳細は国土交通省「工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編」付属資料3による。

このコード表は、上記要領に記載のない下水設備の機器コード（g）（h）（j）を定めるものである。（i）（k）については機場ごとに定めること。

下水道施設の場合

		国土交通省区分	国土交通省説明	形　　式	表現内容	下水機器台帳分類
施設コード	a	発注者の大分類	CORINSの大区分	1桁半角数字	大阪府	
	b	発注者の中分類	CORINSの中区分	2桁半角数字	下水道事務所	
	c	発注者の小分類	CORINSの小区分	2桁半角数字	○○流域下水道事務所	
	d	発注者の細分類	CORINSの細区分	3桁半角数字		
	e	施設大分類	TECRISの業務対象水系･路線名	5桁半角数字	○○流域下水道	流域名
	f	施設小分類	水門･排水機場等施設の区分	1桁半角英字＋3桁半角数字	○○処理場	事業所
機器コード	g	設備大分類	非常用洪水吐設備、分流水門設備等の設備区分	2桁半角英数字	沈砂池設備	大分類名
	h	設備小分類	主ゲート、制水ゲート等の水門扉の区分	2桁半角数字	沈砂設備	中分類名
	i	設備区分番号	水門扉が複数ある場合に区分する数字	2桁半角数字	系列	系列名
	j	機器名（部位）	扉体、戸当たり等の部位の区分	2桁半角数字	自動除塵機	小分類名
	k	機器区分番号	同一機器等が複数ある場合に区分する数字	2桁半角数字	号機	複数ある場合の号機分け
	l	詳細		2桁半角数字	ー	
	m	詳細区分番号		2桁半角数字	ー	

※　a～f　までは施設コード、g～m　までは機器コードである。

※　下水設備のg，h，jについては次項以降のコード表を参照のこと。

※　a～k　までは必須項目

設備大分類(g)	コード	設備小分類(h)	コード
大分類		中分類	
沈砂池設備	WA	スクリーンかす設備	01
		沈砂設備	02
		ゲート設備	03
ポンプ設備	WB	汚水ポンプ設備	01
		雨水ポンプ設備	02
水処理設備	WC	最初沈殿池設備	01
		反応タンク設備	02
		最終沈殿池設備	03
		消毒設備	04
		用水設備	05
汚泥処理設備	WD	消化タンク設備	01
		洗浄タンク設備	02
		前処理設備	03
		濃縮設備	04
		薬注設備	05
		熱処理設備	06
		脱水設備	07
		焼却炉設備	08
		空気余熱設備	09
		白煙防止設備	10
		集塵設備	11
		排煙設備	12
		燃料設備	13
		汚泥圧送設備	14
高度処理設備	WE	凝集沈殿設備	01
		溶存酸素回復設備	02
		急速ろ過設備	03
		活性炭設備	04

設備大分類(g)	コード	設備小分類(h)	コード
大分類		中分類	
共通	WF	管廊設備	01
脱臭設備	WG	臭気ガス吸引設備	01
		吸着脱臭設備	02
		薬液洗浄式脱臭設備	03
		生物脱臭設備	04
		オゾン脱臭設備	05
		直接燃焼脱臭設備	06
増補幹線	WH	増補幹線設備	01
沈砂池電気設備	WI	高圧受変電設備	02
		自家発設備	03
		直流電源設備	04
		高圧動力盤設備	05
		低圧動力盤設備	06
		計装設備	07
		中央監視制御設備	08
		通信設備	09
ポンプ電気設備	WJ	高圧受変電設備	02
		自家発設備	03
		直流電源設備	04
		高圧動力盤設備	05
		低圧動力盤設備	06
		計装設備	07
		中央監視制御設備	08
		通信設備	09
水処理電気設備	WK	高圧受変電設備	02
		自家発設備	03
		直流電源設備	04
		高圧動力盤設備	05
		低圧動力盤設備	06
		計装設備	07
		中央監視制御設備	08
		通信設備	09

設備大分類(g)	コード	設備小分類(h)	コード
大分類		中分類	
汚泥処理電気設備	WL	高圧受変電設備	02
		自家発設備	03
		直流電源設備	04
		高圧動力盤設備	05
		低圧動力盤設備	06
		計装設備	07
		中央監視制御設備	08
		通信設備	09
高度処理電気設備	WM	高圧受変電設備	02
		自家発設備	03
		直流電源設備	04
		高圧動力盤設備	05
		低圧動力盤設備	06
		計装設備	07
		中央監視制御設備	08
		通信設備	09
脱臭電気設備	WN	高圧受変電設備	02
		自家発設備	03
		直流電源設備	04
		高圧動力盤設備	05
		低圧動力盤設備	06
		計装設備	07
		中央監視制御設備	08
		通信設備	09
増補幹線電気設備	WO	高圧受変電設備	02
		自家発設備	03
		直流電源設備	04
		高圧動力盤設備	05
		低圧動力盤設備	06
		計装設備	07
		中央監視制御設備	08
		通信設備	09
電気設備	WP	特高受変電設備	01
		高圧受変電設備	02
		自家発設備	03
		直流電源設備	04
		高圧動力盤設備	05
		低圧動力盤設備	06
		計装設備	07
		中央監視制御設備	08
		通信設備	09

沈砂池設備 ： WA

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
スクリーンかす設備	01	自動除塵機	01
		ベルトコンベヤ	02
		フライトコンベヤ	03
		スキップホイスト	04
		ホッパ	05
		スクリーンかす洗浄機	06
		トラフコンベヤ	07
		電動ゲート	08
		油ポンプ	09
		スカム分離機	10
		潤滑油装置	11
		自動洗浄ストレーナ	12
		給水ポンプ	13
		スクリーンかす脱水機	14
		スクリーン	15
		破砕機	16
		排水ポンプ	17
		ダンパー	18
		覆蓋	19
		ゲート類	20
		電動ホイスト	21
		手動チェーンブロック	22
		電動チェーンブロック	23
		クレーン類	24
		電動ダイヤフラム弁	25
		ポンプ類	26
		給水タンク	27
		排水タンク	28
		タンク類	29
		可搬式小型空気圧縮機	30
		スラッジ用スクレーパ	31
		油圧装置	32
		消音器	33
		空気槽	34
		その他	99
沈砂設備	02	ベルトコンベヤ	01
		フライトコンベヤ	02
		スキップホイスト	03
		ホッパ	04
		沈砂掻揚機	05
		トラフコンベヤ	06
		沈砂洗浄機	07
		手動ゲート	08
		電動ゲート	09
		油ポンプ	10
		自動洗浄ストレーナ	11
		給水ポンプ	12

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
沈砂設備	02	破砕機	13
		排水ポンプ	14
		ケースコンベヤ	15
		排気ファン	16
		ダンパー	17
		覆蓋	18
		電動天井クレーン	19
		電動ホイスト	20
		手動チェーンブロック	21
		電動チェーンブロック	22
		クレーン類	23
		電動仕切弁	24
		電動蝶形弁	25
		電動偏心構造弁	26
		弁類	27
		ポンプ類	28
		排水タンク	29
		タンク類	30
		サイクロン	31
		給水ユニット	32
		スクリーン	33
		油圧装置	34
		電動開閉器	35
		水位計	36
		ストレーナー	37
		電動弁	38
		空気圧縮機	39
		消音器	40
		ダンパー	41
		その他	99
ゲート設備	03	手動ゲート	01
		電動ゲート	02
		油圧ゲート	03
		油ポンプ	04
		汚泥スクリーン	05
		排水ポンプ	06
		ゲート類	07
		電動ホイスト	08
		手動チェーンブロック	09
		電動チェーンブロック	10
		電動仕切弁	11
		電動蝶形弁	12
		可動堰	13
		スクリーン	14
		油圧開閉装置	15
		電動開閉装置	16
		手動開閉装置	17

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
ゲート設備	03	レリーフ弁	18
		消音器	19
		ダンパー	20
		油圧ユニット	21
		計器類	22
		その他弁類	23
		その他	99

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	

ポンプ設備 ： WB

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
汚水ポンプ設備	01	手動ゲート	01
		主ポンプ	02
		主電動機	03
		吐出弁	04
		ディーゼル機関	05
		歯車減速機	06
		油ポンプ	07
		油タンク	08
		生汚泥ポンプ	09
		逆止弁	10
		乾式フィルター	11
		その他ポンプ類	12
		給水ポンプ	13
		排水ポンプ	14
		給気ファン	15
		排気ファン	16
		その他ゲート類	17
		手動天井クレーン	18
		電動天井クレーン	19
		電動ホイスト	20
		手動チェーンブロック	21
		電動チェーンブロック	22
		その他クレーン類	23
		手動仕切弁	24
		電動仕切弁	25
		手動蝶形弁	26
		電動蝶形弁	27
		電動偏心構造弁	28
		その他弁類	29
		その他ファン類	30
		その他ポンプ類	31
		給水タンク	32
		排水タンク	33
		その他タンク類	34
		給水ユニット	35
		電動機	36
		開閉装置	37
		流量計	38
		水位計	39
		空気抜弁	40
		バタフライ弁	41
		空気圧縮機	42
		消音器	43
		その他	99
雨水ポンプ設備	02	手動ゲート	01
		電動ゲート	02
		主ポンプ	03

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
雨水ポンプ設備	02	吐出弁	04
		ディーゼル機関	05
		ガスタービン電動機	06
		歯車減速機	07
		流体継手	08
		流体継手付歯車減速機	09
		油ポンプ	10
		油タンク	11
		消音器	12
		逆止弁	13
		熱交換器	14
		給水ポンプ	15
		排水ポンプ	16
		給気ファン	17
		排気ファン	18
		手動天井クレーン	19
		電動天井クレーン	20
		電動ホイスト	21
		手動チェーンブロック	22
		電動チェーンブロック	23
		その他クレーン類	24
		手動仕切弁	25
		電動仕切弁	26
		電動蝶形弁	27
		手動蝶形弁	28
		空気用逆止弁	29
		その他弁類	30
		その他ファン類	31
		その他ポンプ類	32
		給水タンク	33
		その他タンク類	34
		給水ユニット	35
		可搬式小型空気圧縮機	36
		油冷却器	37
		冷却器	38
		消火器	39
		流量計	40
		開度計	41
		水位計	42
		電磁弁	43
		電動弁	44
		保護継電器	45
		その他盤類	46
		原動機	47
		燃料ポンプ	48
		燃料貯油槽	49
		燃料小出槽	50

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
雨水ポンプ設備	02	冷却水ポンプ	51
		蓄電池盤	52
		空気圧縮機	53
		ダンパー	54
		油圧ユニット	55
		始動空気槽	56
		制御装置	57
		その他	99

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	

水処理設備 ： WC

設備小分類(i)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
最初沈殿池設備	01	手動ゲート	01
		電動ゲート	02
		可動堰	03
		汚泥掻寄機	04
		スカムスキマー	05
		スカム分離機	06
		生汚泥ポンプ	07
		逆止弁	08
		散気装置	09
		吐出弁	10
		初沈汚泥ポンプ	11
		テレスコピック装置	12
		その他ポンプ類	13
		給水ポンプ	14
		スカム移送ポンプ	15
		排水ポンプ	16
		給気ファン	17
		脱臭ファン	18
		攪拌機	19
		排気ファン	20
		その他ファン類	21
		覆蓋	22
		その他ゲート類	23
		電動ホイスト	24
		手動チェーンブロック	25
		電動チェーンブロック	26
		手動仕切弁	27
		電動仕切弁	28
		手動蝶形弁	29
		電動蝶形弁	30
		電動偏心構造弁	31
		空気作動偏心構造弁	32
		電動ダイヤフラム弁	33
		その他弁類	34
		その他ポンプ類	35
		除湿器	36
		可搬式小型空気圧縮機	37
		電動開閉機	38
		減速機	39
		玉形弁	40
		工業計器盤	41
		空気圧縮機	42
		空気槽	43
		流量計	44
		圧力計	45
		その他弁類	46
		その他	99

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
反応タンク設備	02	手動ゲート	01
		電動ゲート	02
		主電動機	03
		油ポンプ	04
		油タンク	05
		ブロワ本体	06
		逆止弁	07
		潤滑油装置	08
		乾式フィルター	09
		湿式フィルター	10
		散気装置	11
		吐出弁	12
		消泡ノズル	13
		水中撹拌機	14
		循環ポンプ	15
		給水ポンプ	16
		排水ポンプ	17
		給気ファン	18
		排気ファン	19
		薬品注入ポンプ	20
		覆蓋	21
		ゲート類	22
		手動天井クレーン	23
		電動天井クレーン	24
		電動ホイスト	25
		手動チェーンブロック	26
		電動チェーンブロック	27
		手動仕切弁	28
		電動仕切弁	29
		手動蝶形弁	30
		電動蝶形弁	31
		油圧蝶形弁	32
		その他弁類	33
		その他ポンプ類	34
		給水タンク	35
		薬品タンク	36
		塔類	37
		可動堰	38
		電動機	39
		給水装置	40
		温度計	41
		ヘッドタンク	42
		油圧ユニット	43
		空気槽	44
		流量計	45
		圧力計	46
		汚泥ポンプ	47

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
反応タンク設備	02	除湿器	48
		可搬式小型空気圧縮機	49
		給油装置	50
		流量計	51
		電動弁	52
		油圧ユニット	53
		その他	99
最終沈殿池設備	03	手動ゲート	01
		電動ゲート	02
		主電動機	03
		汚泥掻寄機	04
		スカムスキマー	05
		スカム分離機	06
		逆止弁	07
		消泡ノズル	08
		返送汚泥ポンプ	09
		余剰汚泥ポンプ	10
		テレスコピック装置	11
		マイクロストレーナ	12
		自動洗浄ストレーナ	13
		給水ポンプ	14
		スカム移送ポンプ	15
		排水ポンプ	16
		撹拌機	17
		薬品注入ポンプ	18
		その他ゲート類	19
		電動天井クレーン	20
		電動ホイスト	21
		手動チェンブロック	22
		手動仕切弁	23
		電動仕切弁	24
		手動蝶形弁	25
		電動蝶形弁	26
		油圧蝶形弁	27
		電動偏心構造弁	28
		空気作動偏心構造弁	29
		その他弁類	30
		薬品移送ポンプ	31
		その他ポンプ類	32
		給水タンク	33
		汚泥タンク	34
		薬品タンク	35
		その他タンク類	36
		可動堰	37
		除湿器	38
		電動機	39
		チェーン	40

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
最終沈殿池設備	03	減速器	41
		ストレーナ	42
		電磁弁	43
		調整弁	44
		その他(構成機器共通)	45
		空気圧縮機	46
		ダンパー	47
		空気槽	48
		圧力計	49
		その他	99
消毒設備	04	手動ゲート	01
		電動ゲート	02
		主ポンプ	03
		逆止弁	04
		消泡ノズル	05
		塩素注入装置	06
		塩素ガス中和装置	07
		次亜塩注入装置	08
		排水ポンプ	09
		苛性ソーダ注入装置	10
		撹拌機	11
		排気ファン	12
		紫外線滅菌器	13
		薬品注入ポンプ	14
		電動ホイスト	15
		手動チェンブロック	16
		電動蝶形弁	17
		オゾン発生装置	18
		オゾン反応タンク	19
		排オゾン処理装置	20
		原料ガス供給装置	21
		手動ダイアフラム弁	22
		薬品循環ポンプ	23
		薬品希釈ポンプ	24
		その他ポンプ類	25
		給水タンク	26
		薬品タンク	27
		薬品塔	28
		可動堰	29
		塩素気化器	30
		塩素ボンベ計重機	31
		空気圧縮機	32
		油圧ユニット	33
		その他弁類	34
		その他	99

水処理設備 ： WC

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
用水設備	05	手動ゲート	01
		電動ゲート	02
		主ポンプ	03
		主電動機	04
		手動天井クレーン	05
		ブロワ本体	06
		逆止弁	07
		散水機	08
		マイクロストレーナ	09
		自動洗浄ストレーナ	10
		砂ろ過機	11
		給水ポンプ	12
		排水ポンプ	13
		給気ファン	14
		排気ファン	15
		紫外線滅菌器	16
		薬品注入ポンプ	17
		ゲート類	18
		電動ホイスト	19
		手動チェンブロック	20
		手動仕切弁	21
		電動仕切弁	22
		手動蝶形弁	23
		電動蝶形弁	24
		その他弁類	25
		その他ポンプ類	26
		給水タンク	27
		薬品タンク	28
		給水ユニット	29
		電動開閉機	30
		流量計	31
		電磁弁	32
		電動弁	33
		減圧弁	34
		ダイヤフラム弁	35
		空気圧縮機	36
		油圧ユニット	37
		流量計	38
		その他	99

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	

汚泥処理設備 ： WD

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
消化タンク設備	01	油ポンプ	01
		油タンク	02
		テレスコピック装置	03
		センタードーム(タンク本体)	04
		ガス撹拌装置	05
		脱硫器	06
		ガス貯留フォルダ	07
		蒸気ボイラー	08
		余剰ガス燃焼装置	09
		熱交換機	10
		給水ポンプ	11
		汚泥ポンプ	12
		補助燃焼装置	13
		給気ファン	14
		撹拌機	15
		排気ファン	16
		ダンパー	17
		手動チェンブロック	18
		電動仕切弁	19
		空気作動蝶形弁	20
		空気作動偏心構造弁	21
		空気作動ダイアフラム弁	22
		その他弁類	23
		その他ファン類	24
		その他ポンプ類	25
		その他タンク類	26
		その他塔類	27
		給水ユニット	28
		圧力スイッチ	29
		減圧弁	30
		燃料タンク	31
		空気圧縮機	32
		流量計	33
		その他	99
洗浄タンク設備	02	手動ゲート	01
		汚泥掻寄機	02
		マイクロストレーナ	03
		給水ポンプ	04
		汚泥ポンプ	05
		撹拌機	06
		ポンプ類	07
		減速機	08
		その他	99
前処理設備	03	自動除塵機	01
		ベルトコンベア	02
		フライトコンベア	03
		ホッパ	04

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
前処理設備	03	手動ゲート	05
		主ポンプ	06
		汚泥掻寄機	07
		水中撹拌機	08
		返送汚泥ポンプ	09
		余剰汚泥ポンプ	10
		給水ポンプ	11
		スクリューコンベア	12
		汚泥スクリーン	13
		汚泥ポンプ	14
		破砕機	15
		排水ポンプ	16
		遠心脱水機	17
		定量フィーダ	18
		給気ファン	19
		排気ファン	20
		その他ゲート類	21
		電動天井クレーン	22
		電動仕切弁	23
		電動偏心構造弁	24
		その他弁類	25
		薬品供給ポンプ	26
		薬品移送ポンプ	27
		その他ポンプ類	28
		薬品タンク	29
		排水タンク	30
		その他タンク類	31
		サイクロン	32
		冷却器	33
		スクリーン	34
		減速機	35
		電磁弁	36
		電動弁	37
		バタフライ弁	38
		濃度計	39
		油圧ユニット	40
		その他	99
濃縮設備	04	自動除塵機	01
		ベルトコンベア	02
		ホッパ	03
		手動ゲート	04
		汚泥掻寄機	05
		スカム分離機	06
		生汚泥ポンプ	07
		ブロワ本体	08
		逆止弁	09
		余剰汚泥ポンプ	10

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
濃縮設備	04	テレスコピック装置	11
		その他ポンプ類	12
		給水ポンプ	13
		スクリーンかす脱水機	14
		汚泥かき取り機	15
		汚泥スクリーン	16
		遠心濃縮機	17
		消石灰注入装置	18
		汚泥ポンプ	19
		破砕機	20
		排水ポンプ	21
		定量供給機	22
		撹拌機	23
		排気ファン	24
		薬品注入ポンプ	25
		覆蓋	26
		手動天井クレーン	27
		電動天井クレーン	28
		手動チェンブロック	29
		電動チェンブロック	30
		電動ホイスト	31
		手動仕切弁	32
		電動仕切弁	33
		空気作動仕切弁	34
		電動偏心構造弁	35
		空気作動ダイヤフラム弁	36
		その他弁類	37
		その他ポンプ類	38
		給水タンク	39
		汚泥タンク	40
		薬品タンク	41
		その他タンク類	42
		その他塔類	43
		可動堰	44
		給水ユニット	45
		除湿器	46
		検出器	47
		スクリーン	48
		流量計	49
		液面計	50
		減速機	51
		電動弁	52
		濃度計	53
		汚泥濃度計	54
		空気圧縮機	55
		ダンパー	56
		油圧ユニット	57

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
濃縮設備	04	空気槽	58
		圧力計	59
		その他	99
薬注設備	05	フライトコンベア	01
		ホッパ	02
		消石灰注入装置	03
		塩鉄注入装置	04
		高分子注入装置	05
		汚泥ポンプ	06
		排水ポンプ	07
		定量供給機	08
		薬品注入ポンプ	09
		電動ホイスト	10
		その他弁類	11
		その他ファン類	12
		薬品供給ポンプ	13
		薬品移送ポンプ	14
		その他ポンプ類	15
		汚泥タンク	16
		薬品タンク	17
		その他タンク類	18
		除湿器	19
		空気圧縮機	20
		その他	99
熱処理設備	06	汚泥掻寄機	01
		生汚泥ポンプ	02
		乾式フィルタ	03
		蒸気ボイラ	04
		熱交換器	05
		給水ポンプ	06
		反応器	07
		汚泥ポンプ	08
		破砕機	09
		熱濃掻寄機	10
		空気予熱機	11
		給気ファン	12
		撹拌機	13
		排気ファン	14
		電動天井クレーン	15
		電動ホイスト	16
		その他弁類	17
		その他ポンプ類	18
		汚泥タンク	19
		薬品タンク	20
		その他タンク類	21
		現場操作盤	22
		空気圧縮機	23

汚泥処理設備 ： WD

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
熱処理設備	06	空気槽	24
		その他	99
脱水設備	07	ベルトコンベア	01
		フライトコンベア	02
		ホッパ	03
		手動天井クレーン	04
		電動天井クレーン	05
		電動ホイスト	06
		手動ホイスト	07
		空気圧縮機	08
		生汚泥ポンプ	09
		その他ポンプ類	10
		砂ろ過機	11
		給水ポンプ	12
		汚泥スクリーン	13
		塩鉄注入装置	14
		汚泥ポンプ	15
		真空ろ過機	16
		排水ポンプ	17
		高分子注入装置	18
		加圧脱水機	19
		遠心脱水機	20
		ベルトプレス脱水機	21
		スクリュープレス脱水機	22
		定量フィーダ	23
		給気ファン	24
		ケースコンベア	25
		定量供給機	26
		乾燥機	27
		攪拌機	28
		排気ファン	29
		薬品注入ポンプ	30
		電動天井クレーン	31
		電動ホイスト	32
		手動チェーンブロック	33
		電動チェーンブロック	34
		電動仕切弁	35
		電動偏心構造弁	36
		その他ファン類	37
		薬品供給ポンプ	38
		薬品移送ポンプ	39
		薬品循環ポンプ	40
		その他ポンプ類	41
		給水タンク	42
		汚泥タンク	43
		薬品タンク	44
		その他タンク類	45

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
脱水設備	07	その他塔類	46
		給水ユニット	47
		除湿器	48
		可搬式小型空気圧縮機	49
		流量計	50
		水位計	51
		フィルター	52
		汚泥濃度計	53
		汚泥界面計	54
		空気圧縮機	55
		消音器	56
		油圧ユニット	57
		空気槽	58
		流量計	59
		その他	99
焼却炉設備	08	自動除塵機	01
		ベルトコンベア	02
		フライトコンベア	03
		ホッパ	04
		トラフコンベア	05
		油ポンプ	06
		油タンク	07
		スカム分離機	08
		ブロア本体	09
		乾式フィルター	10
		次亜塩注入装置	11
		自動洗浄ストレーナー	12
		脱硫器	13
		蒸気ボイラー	14
		熱交換器	15
		給水ポンプ	16
		スクリュウコンベア	17
		破砕機	18
		排水ポンプ	19
		定量フィーダ	20
		空気予熱機	21
		流動床焼却炉	22
		多段式焼却炉	23
		回転式乾燥焼却炉	24
		補助燃焼装置	25
		ケーキ投入機	26
		バグフィルター	27
		排煙処理塔	28
		給気ファン	29
		ケースコンベア	30
		振動機	31
		定量供給機	32

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
焼却炉設備	08	煙突	33
		苛性ソーダ注入装置	34
		排気ファン	35
		薬品注入ポンプ	36
		電動天井クレーン	37
		スクラバー	38
		電動ホイスト	39
		空気作動ダイヤフラム弁	40
		その他弁類	41
		その他ファン類	42
		薬品供給ポンプ	43
		薬品移送ポンプ	44
		薬品循環ポンプ	45
		その他ポンプ類	46
		給水タンク	47
		薬品タンク	48
		その他タンク類	49
		脱臭塔	50
		その他塔類	51
		流動ブロア	52
		昇圧ブロア	53
		汚泥溶融炉	54
		給水ユニット	55
		除湿機	56
		加湿器	57
		液面計	58
		フロースイッチ	59
		圧力スイッチ	60
		電磁弁	61
		電動弁	62
		玉形弁	63
		減圧弁	64
		遮断弁	65
		濃度計	66
		燃料ポンプ	67
		減圧水槽	68
		空気圧縮機	69
		消音器	70
		ダンパー	71
		油圧ユニット	72
		空気槽	73
		汚泥ポンプ	74
		その他	99
空気余熱設備	09	熱交換器	01
		空気予熱機	02
		給気ファン	03
		その他	99

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
白煙防止設備	10	白煙防止予熱機	01
		白煙防止ブロア	02
		その他ファン類	03
		可動堰	04
		その他	99
集塵設備	11	ベルトコンベア	01
		フライトコンベア	02
		ホッパ	03
		乾式フィルター	04
		スクリュウコンベア	05
		ケースコンベア	06
		その他ファン類	07
		サイクロン	08
		サイクロン搬出機	09
		加湿器	10
		その他	99
排煙設備	12	自動除塵機	01
		主ポンプ	02
		ブロア本体	03
		熱交換器	04
		給水ポンプ	05
		反応器	06
		補助燃焼装置	07
		排煙処理塔	08
		煙突	09
		苛性ソーダ注入装置	10
		その他ファン類	11
		薬品供給ポンプ	12
		薬品循環ポンプ	13
		その他ポンプ類	14
		薬品タンク	15
		その他タンク類	16
		その他塔類	17
		サイクロン	18
		湿式電気集塵機	19
		流量計	20
		濃度計	21
		ダンパー	22
		ベルトコンベア	23
		排気ファン	24
		空気用蝶形弁	25
		乾式電気集塵機	26
		流動ブロア	27
		可搬式小型空気圧縮機	28
		濃度計	29
		その他	99

汚泥処理設備 ： WD

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
燃料設備	13	油圧ゲート	01
		油ポンプ	02
		油タンク	03
		燃料ポンプ	04
		燃料タンク	05
		その他	99
汚泥圧送設備	14	汚泥ポンプ	01
		撹拌機	02
		その他	99

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	

設備小分類	コード	機器名(部位)	コード
中分類		小分類	

高度処理設備 ： WE

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
凝集沈殿設備	01	汚泥かき寄せ機	01
		汚泥ポンプ	02
		攪拌機	03
		ゲート類	04
		減速機	05
		薬品タンク	06
		薬品注入ポンプ	07
		その他	99
溶存酸素回復設備	02	散気装置	01
		その他	99
急速ろ過設備	03	トラフコンベア	01
		手動ゲート	02
		電動ゲート	03
		主ポンプ	04
		ブロア本体	05
		逆止弁	06
		自動洗浄ストレーナ	07
		砂ろ過機(鋼製)	08
		給水ポンプ	09
		排水ポンプ	10
		砂ろ過装置(三次処理用)	11
		繊維ろ過装置	12
		薬品注入ポンプ	13
		その他ゲート類	13
		手動天井クレーン	14
		手動チェーンブロック	15
		手動仕切弁	16
		電動仕切弁	17
		手動蝶形弁	18
		電動蝶形弁	19
		空気作動蝶形弁	20
		空気用蝶形弁	21
		その他ポンプ類	22
		給水タンク	23
		薬品タンク	24
		可動堰	25
		流動ブロア	26
		除湿器	27
		空気圧縮機	28
		消音器	29
		油圧ユニット	30
		その他	99
活性炭設備	04	活性炭吸着等(三次処理用)	01
		再生炉(三次処理用)	02
		その他ポンプ類	03
		その他	99
管廊設備	01	逆止弁	01

共通 ： WF

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
管廊設備	01	散水機	02
		蒸気ボイラー	03
		給水ポンプ	04
		スクリーンかす脱水機	05
		破砕機	06
		排水ポンプ	07
		給気ファン	08
		排気ファン	09
		電動ホイスト	10
		その他クレーン類	11
		手動仕切弁	12
		手動蝶形弁	13
		手動ダイヤフラム弁	14
		その他ファン類	15
		その他ポンプ類	16
		給水タンク	17
		その他塔類	18
		警報器	19
		電動開閉機	20
		重量計	21
		温度計	22
		ガスフィルター	23
		エアチャンバー	24
		その他盤類	25
		指示計器類	26
		プリンタ	27
		消音器	28
		その他弁類	29
		その他	99

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	

脱臭設備 ： WG

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
臭気ガス吸引設備	01	給気ファン	01
		脱臭ファン	02
		排気ファン	03
		吸着脱臭装置	04
		防音カバー	05
		ミストセパレーター	06
		エアチャンバー	07
		風量計(風向風速)	08
		空気圧縮機	09
		その他	99
吸着脱臭設備	02	脱臭ファン	01
		吸着脱臭装置	02
		覆蓋	03
		手動チェーンブロック	04
		脱臭塔	05
		塔類	06
		ミストセパレーター	07
		活性炭フィルター	08
		濃度計	09
		弁類	10
		その他	99
薬液洗浄式脱臭装置	03	手動天井クレーン	01
		脱臭ファン	03
		攪拌機	04
		薬品注入ポンプ	05
		手動チェーンブロック	06
		その他ファン類	07
		薬品供給ポンプ	08
		薬品循環ポンプ	09
		その他ポンプ類	10
		薬品タンク	11
		その他タンク類	12
		薬品塔	13
		脱臭塔	14
		その他塔類	15
		PH計	16
		ミストセパレーター	17
		電動弁	18
		その他弁類	19
		濃度計	20
		残留塩素計	21
		空気圧縮機	22
		流量計	23
		圧力計	24
		その他	99

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
生物脱臭設備	04	給水ポンプ	01
		脱臭ファン	02
		生物脱臭装置	03
		覆蓋	04
		手動チェーンブロック	05
		弁類	06
		ミストセパレーター	07
		ガスフィルター	08
		その他	99
オゾン脱臭設備	05	給水ポンプ	01
		脱臭ファン	02
		薬品注入ポンプ	03
		オゾン及び薬液洗浄脱臭装置	04
		薬品循環ポンプ	05
		給水タンク	06
		薬品タンク	07
		脱臭塔	08
		給水ユニット	09
		ミストセパレーター	10
		濃度計	11
		空気圧縮機	12
		その他	99
直接燃焼脱臭設備	06	余剰ガス燃焼装置	01
		エアチャンバー	02
		ダンパー	03
		流量計	04
		圧力計	05
		その他	99

増補幹線 ： WH

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
増補幹線設備	01	水中ポンプ	01
		弁類	02
		スクリーン	03
		ゲート	04
		可動堰(電動)	05
		脱臭設備	06
		軸流ファン	07
		有圧換気扇	08
		水位計	09
		その他	99

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	

電気設備 ： WI ～ WP

設備小分類(I	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
特高受変電設備	01	検電器	01
		断路器	02
		遮断器	03
		変流器	04
		避雷器	05
		変圧器	06
		接地開閉器	07
		計器用変圧器	08
		保護継電器	09
		保護継電器盤	10
		避雷器盤	11
		その他盤類	12
		変圧器盤	13
		コンデンサ盤	14
		計器用変圧器盤	15
		MOF盤	16
		蓄電池盤	17
		充電器盤	18
		遮断器盤	19
		マイクロコントローラー盤	20
		情報伝送装置	21
		現場操作盤	22
		工業計器盤	23
		監視盤	24
		端子盤(中継・接地等)	25
		分電盤(制御電源分岐盤等)	26
		その他	99

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
高圧受変電設備	02	変圧器	01
		接地開閉器	02
		保護継電器盤	03
		その他盤類	04
		変圧器盤	05
		コンデンサ盤	06
		変流器盤	07
		計器用変圧器盤	08
		MOF盤	09
		発電機盤	10
		蓄電池盤	11
		高圧コンビネーションスタータ盤	12
		遮断器盤	13
		シーケンサー盤	14
		低圧主幹盤	15
		現場操作盤	16
		監視盤	17
		端子盤(中継・接地等)	18
		分電盤(制御電源分岐盤等)	19
		動力制御盤	20
		高圧負荷開閉器	21
		制御盤	22
		その他	99
自家発設備	03	ディーゼル機関	01
		ガスタービン機関	02
		空気圧縮機	02
		油ポンプ	03
		油タンク	04
		消音器	05
		給気ファン	06
		排気ファン	07
		手動チェーンブロック	08
		電動チェーンブロック	09
		その他ポンプ類	10
		給水タンク	11
		その他塔類	12
		空気槽	13
		制御盤	14
		冷却器	15
		流量計	16
		水位計	17
		その他盤類	18
		発電機	19
		原動機	20
		同期盤	21
		自動始動盤	22
		ダミーロード	23

設備小分類	コード	機器名(部位)	コード
中分類		小分類	
自家発設備	03	ダミー切換盤	24
		燃料ポンプ	25
		燃料タンク	26
		発電機盤	27
		冷却水ポンプ	28
		減圧水槽	29
		蓄電池盤	30
		遮断器盤	31
		コントロールセンター	32
		補助継電器盤	33
		現場操作盤	34
		監視盤	35
		中央計器盤	36
		温度計	37
		工業テレビ	38
		動力制御盤	39
		弁類	40
		その他	99
直流電源設備	04	その他盤類	01
		蓄電池盤	02
		充電器盤	03
		インバータ盤	04
		コントロールセンター	05
		現場操作盤	06
		中継箱・電源箱	07
		その他	99
高圧動力盤設備	05	変圧器	01
		保護継電器盤	02
		その他盤類	03
		変圧器盤	04
		コンデンサ盤	05
		遮断器盤	06
		補助継電器盤	07
		回転数制御装置	08
		動力制御盤	09
		その他	99
低圧動力盤設備	06	制御盤	01
		その他盤類	02
		変圧器盤	03
		遮断器盤	04
		シーケンサー盤	05
		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｺﾝﾄﾛｰﾗ盤	06
		情報伝送装置	07
		コントロールセンター	08
		補助継電器盤	09
		低圧主幹盤	10
		現場操作盤	11

設備小分類	コード	機器名(部位)	コード
中分類		小分類	
低圧動力盤設備	06	工業計器盤	12
		監視盤	13
		回転数制御装置	14
		端子盤(中継・接地等)	15
		動力制御盤	16
		表示灯類	17
		その他	99
計装設備	07	空気圧縮機	01
		給水ポンプ	02
		検出器	03
		発信器	04
		制御盤	05
		重量計	06
		流量計	07
		圧力計	08
		液面計	09
		開度計	10
		温度計	11
		水位計	12
		PH計	13
		ミストセパレーター	14
		濃度計	15
		避雷器	16
		その他盤類	17
		充電器盤	18
		コントロールセンター	19
		現場操作盤	20
		工業計器盤	21
		中央計器盤	22
		DO計	23
		汚泥濃度計	24
		雨量計	25
		MLSS計	26
		汚泥界面計	27
		風量計(風向風速)	28
		温度計	29
		気圧計	30
		降雨強度計	31
		ORP(酸化還元電位)計	32
		導電率計	33
		濁度計	34
		残留塩素計	35
		UV計	36
		COD計	37
		TOC(全有機炭素量)計	38
		中央監視盤	39
		端子盤(中継・接地等)	40

※設備大分類 沈砂池電気設備以降については設備小分類が共通であるため
共通のコード表とした。

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	
計装設備	07	SS濃度計	41
		回転数計	42
		その他計器類	43
		指示計器類	44
		スイッチ類	45
		マイクロコントローラー	46
		変換器	47
		記録計	48
		積算計	49
		指示調節計	50
		警報設定器	51
		加減剰余算器	52
		アイソレータ	53
		中継箱・電源箱	54
		制御電源ユニット	55
		空気圧縮機	56
		TN計	57
		TP計	58
		TN－TP計	59
		その他	99
中央監視制御設備	08	中央計器盤	01
		中央監視盤	02
		中央処理装置	03
		CRT装置	04
		遠方監視制御装置	05
		工業テレビ	06
		端子盤(中継・接地等)	07
		記録計	08
		テレビカメラ	09
		その他	99
通信設備	09	その他盤類	01
		情報伝送装置	02
		監視盤	03
		中央処理装置	04
		CRT装置	05
		遠方監視制御装置	06
		工業テレビ	07
		端子盤(中継・接地等)	08
		受像器	09
		その他	99

設備小分類(h)	コード	機器名(部位)(j)	コード
中分類		小分類	